令和9年度（2027）

福井工業大学（学部／大学院工学研究科）

入学試験要項

私費外国人留学生選抜

- 工学部
- 環境学部
- 経営情報学部
- スポーツ健康科学部

私費外国人留学生推薦選抜

- 大学院

福井工業大学
Fukui University of Technology

■学部入学試験要項　P1 ～ P12

■大学院工学研究科入学試験要項　P13 ～ P35

個人情報の取り扱いについて

本学では入試業務を遂行するにあたり、志願者より取得した個人情報（保護者等を含む）は、次の利用目的のみに使用し、細心の注意を払って管理いたします。

ただし、保護者等の情報については、選考資料には利用しません。

利用目的
1．入学試験（志願から入学まで）における各種連絡および選抜のため。
2．入学後の修学関係・学籍関係・進路関係・学生生活関係およびその連絡のため。
3．その他本学の教育・研究・学生支援に必要な業務のため。

安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「福井工業大学　安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入については厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や教育が受けられない場合がありますので、願書出願の前に指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、外国人留学生（大学院博士前期課程および博士後期課程のみ）の方は、入学手続時に「外国為替及び外国貿易法」を順守する誓約書に署名していただきます。

令和9年度（2027）

福井工業大学
私費外国人留学生選抜 入学試験要項

- 工 学 部
- 環境学部
- 経営情報学部
- スポーツ健康科学部

金井学園　建学の精神

悠久（ゆうきゅう）なる日本民族の歴史と
伝統とに根ざした愛国心を培（つちか）い
節義を重んずる人格の育成、
科学技術の研鑽（けんさん）に努め、以（もっ）て
人類社会の福祉に貢献する

福井工業大学学部　私費外国人留学生選抜

目　　次

学科別アドミッション・ポリシー …… 2

試験概要 …… 4
- 募集学部・募集人員
- 出願資格
- 選考方法
- 試験日程
- 試験時間割
- 試験会場

出願手続 …… 6
- 出願書類
- 入学検定料
- 出願上の注意

受験上の注意 …… 8
- 試験室の入退室
- その他

合格発表 …… 8
- 合格発表日
- 発表方法

入学手続 …… 9
- 入学手続方法
- 入学手続の必要書類
- 入学手続締切日
- 入学手続の注意事項

納 入 金 …… 10
- 初年度（工学部・環境学部・経営情報学部）（スポーツ健康科学部）
- 学費減免奨学金

私費外国人留学生に関する奨学金制度 …… 11
- 私費外国人留学生奨学金
- 私費外国人留学生生活奨学金

お問い合わせ先 …… 11

地方試験会場案内図 …… 12

出願手続提出書類
- ・入学志願票
- ・受験票・写真票・副票
- ・履歴書
- ・経費支弁書
- ・アンケート用紙

学科別アドミッション・ポリシー

福井工業大学（以下、「本学」という。）は、学校法人金井学園（以下、「本学園」という。）の「建学の精神」に基づき、学部・学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、以下の通り、学科毎にアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めています。この方針にふさわしい人材を受け入れるために、本学では各種総合型選抜、各種学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜などの複数の選抜方式をとっています。これらの選抜によって多様な学生を受け入れ、本学の特色ある教育研究を通して、持続可能な社会の発展に主体的かつ能動的に貢献することのできる豊かな人間性と創造性および高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。

工学部

電気電子情報工学科

現代社会は、電気・電子・情報・通信分野などの基幹技術によって支えられています。これらの分野では、環境を考えたエネルギー技術の開発に加え、製造現場や生活者を補助するロボットのように機器やシステムを制御するための情報処理技術の開発など今日的課題への対応も求められています。電気電子情報工学科では、電気・電子・情報分野の基礎学力を十分に身に付けた上で、広い分野で活躍するために必要となる実践的な能力を養います。また、幅広い分野のニーズに応えるコースと、より深い専門能力と創造力の向上を志向するコースを設け、電気・電子・情報分野に関連するプロジェクトを活用することで、実践的な技術者を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

（AP1） 本学科の修学に必要な基礎学力（特に数学、物理）と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕

（AP2） 電気や電子が関連して生じる現象や事象について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

（AP3） 電気・電子・情報・通信工学に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

（AP4） 電気・電子・情報分野に関連するプロジェクトなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

（AP5） 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

機械工学科

機械工学は、我が国が得意とする「ものづくり」の基盤となる学問分野です。人々が安全で快適な生活を営む上で必要となる様々な製品には、機械分野の技術が深く関わっています。機械分野では、「ものづくり」に必要な幅広い専門知識と技術、自ら進んで課題に取り組み解決していく能力、社会に役立つ製品や技術を生み出す創造力、ならびに技術者として国際社会や地域社会で活躍できる責任感と倫理観を兼ね備えた人材が求められています。機械工学科では、機械工学の知識や技術を基盤に福祉・医療用機器やロボットなどを含む各種産業・運輸用機械・設備など、幅広い分野で活躍できる実践的な技術者を育成します。また、機械工学を基礎としながら、自動車整備士の国家資格取得を目指すとともに、自動車関連の分野で活躍できる技術者も育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

（AP1） 本学科の修学に必要な基礎学力（特に数学、物理）と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕

（AP2） 機械や装置のメカニズムに興味があり、その動作から機械や装置の仕組みについて自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

（AP3） 「ものづくり」に関心があり、新しいものを自ら作り出したいという意欲と機械技術者として国内外で活躍したいという希望を持っている。〔関心・意欲〕

（AP4） チャレンジ精神を有し、自ら課題を見つけ、その解決のために粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

（AP5） 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

建築土木工学科

建築および土木は、人々の安全・安心・快適な生活環境を支えるために欠かすことのできない技術分野です。建築土木工学科では、建築系と土木系を専門とする2つのコースを設けています。建築系では、設計法、建築計画、構造、材料、環境設備などの専門技術を修得し、将来、建築士として魅力的な居住空間、都市空間を創出できる人材を育成します。土木系では、安全・安心で豊かな都市環境、国土の創出および社会基盤の整備・維持管理に必要な専門的土木技術を修得し、自然環境と共生しながら持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

（AP1） 本学科の修学に必要な基礎学力（特に数学的思考力）と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕

（AP2） 建築・土木分野の知識・技術に興味があり、これまで造られてきた建築物や土木構造物に対して自分なりの考えを持っている。〔思考・判断〕

（AP3） 建築・土木分野の「ものづくり」に関心があり、将来その分野の技術者として、地域社会および国内外で活躍したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

（AP4） 建築や土木が関連するプロジェクトなどの課外活動にも積極的に参加し、課題の発見と解決に向けて粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

（AP5） 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

原子力技術応用工学科

原子力は、電気工学や機械工学など多くの工学が融合した「総合工学」と言われています。その応用は様々な分野に広がり、ロボット、遠隔操作、免震、水処理をはじめとする多くの技術革新につながっています。原子力技術応用工学科では、高い倫理観と原子力の専門知識を身に付け、次世代原子力技術の発展に貢献できる人材を育成します。また、医療器具の滅菌やがんの治療、材料の非破壊検査、ゴムやプラスチックの製造など、医療・工業・農業分野で幅広く利用されている放射線の専門知識および技術を修得し、国内外で活躍できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

（AP1） 本学科の修学に必要な基礎学力（特に数学、物理）と基本的な学習スキル（文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる）を備えている。〔知識・理解〕

（AP2） 原子力や放射線の応用について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

（AP3） 原子力や放射線に関心があり、将来その分野の技術者として国内外で活躍し、社会に貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

（AP4） 原子力技術や放射線利用の発展に向け、現時点で自らができることに粘り強く主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

（AP5） 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

環境学部

環境食品応用化学科

地球規模での環境問題や異常気象による食糧危機が懸念されており、将来にわたって誰もが安心して暮らせる社会の構築が求められています。環境食品応用化学科では、安全・安心で持続可能な社会の構築に貢献するために、化学・生物学の基礎教育、および環境・食品の専門教育とそれらの最先端研究を行っています。それらを通して科学技術の幅広い知識と確かな応用力を身に付け、環境や食品の重要課題の解決・改善に取り組むことのできる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

(AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力(化学あるいは生物)と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕

(AP2) 環境汚染や食糧危機がもたらす影響について情報を整理し、自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

(AP3) 環境や食品の課題に関心を持ち、将来その解決・改善に取り組みたいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

(AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

(AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

デザイン学科

21世紀の生活環境を考える上で、デザインが果たす役割はますます重要になっています。デザインとは単に美しい作品を生み出すだけではなく、生活のあるべき姿を構想し、それを効果的な方法で表現することです。デザイン学科では、「都市・地域の環境形成やコミュニティのあり方」「住宅・各種施設・インテリアなどの生活空間」「家具・生活用品など身近な商品の意匠とブランディング」「雑誌・広告・ロゴマーク・ポスター・Web・映像などの目に見える情報メディア」等のデザインに関する学びを通して、美しく快適な生活環境を創造するデザイナーやデザインに関わる専門家を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

(AP1) デザインに対する知的好奇心と本学科の学びに必要な基礎学力(分野・教科を問わない)を備えている。〔知識・理解〕

(AP2) 「デザインの力」について、自らの手足と頭を使って調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

(AP3) 人と社会の未来に関心があり、新しい価値観の提案や豊かで美しく快適な生活環境の創造に意欲を持っている。〔関心・意欲〕

(AP4) 他者の意見に耳を傾け、幅広い価値観を理解することができ、自らの考えを他者に伝えるコミュニケーションを楽しむことができる。〔態度〕

(AP5) 自らの感動をことば、絵、身体で表現したいという意欲やみんなで一緒に何かを生み出したいという思いを持っている。〔技能・表現〕

経営情報学部

経営情報学科

今日の高度情報社会を取り巻く環境は情報通信技術の進歩で大きく変わろうとしています。特に、大容量・高速化されたネットワークは世界中のモノにつながり、それらから得られるデータは急激に増加しています。集められた膨大なデータの分析にはAIが不可欠であるため、今後、AIを用いたデータ分析を通じて地域社会、経営・経済における様々な問題を解決できる人材が求められています。経営情報学科では、データサイエンスの知識に加え、経営や経済、グローバルな環境問題や社会サービスに至る広範な知識を身につけ、これらの知識を活用して、社会問題の本質を探り、単一の視点からだけでは解決できない問題について、その解決策を提言できる人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

(AP1) データサイエンス・ICT、企業経営、経済に対する知的好奇心と本学科の修学に必要な基礎学力を備えている。〔知識・理解〕

(AP2) 高度情報社会におけるプラスとマイナスの両面について情報を整理し、自分なりの考えをもつことができる。〔思考・判断〕

(AP3) 社会から歓迎されるデータサイエンティスト、およびデータ活用を推進する企業人、政策担当者として、国内外を問わず社会に幅広く貢献したいという意欲と向上心を持っている。〔関心・意欲〕

(AP4) 本学科が関係するプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

(AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

アスリートのみならず、高齢化社会への対応、健康づくり志向、地域振興など、現代社会ではスポーツへの関心が高まっています。スポーツ健康科学は、科学的視点からスポーツと健康を捉え、総合的・学際的な研究と教育を行う学問分野であり、工学的な知識や視点、情報処理技術など総合力も必要とされています。スポーツ健康科学科では、スポーツ健康科学の理論・技術を修得し、生涯にわたって多様な形でスポーツ・健康産業や関連組織に貢献できる人材を育成します。また、健康運動実践指導者や競技スポーツ指導者など、地域の運動・スポーツ指導の中心的存在となり、ライフステージや対象ごとの目標に応じた健康づくりに寄与する人材を育成します。

そのため、本学科では次のような人を求めています。

(AP1) 本学科の修学に必要な基礎学力と基本的な学習スキル(文章や図表を理解する、ノートやメモを取る、自ら調べる)を備えている。〔知識・理解〕

(AP2) スポーツが人の心身の健康に与える効果について、調べた情報や結果を基に自分なりの考えを持つことができる。〔思考・判断〕

(AP3) スポーツ健康科学の理論・技術を身に付けた指導者・スタッフとして、スポーツや健康関連の分野で貢献したいという意欲を持っている。〔関心・意欲〕

(AP4) スポーツあるいは健康関連のプロジェクトやボランティアなどの課外活動にも主体的に取り組もうとする態度を有している。〔態度〕

(AP5) 他者の考えを理解するとともに、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることができる。〔技能・表現〕

試　験　概　要

1．募集学部・募集人員

募集人員：26名

学　部	学　　科	コ　ー　ス
工　　学　　部	電気電子情報工学科	電気電子コース
		AI情報宇宙コース
	機　械　工　学　科	機械システムコース
		自動車システムコース
	建 築 土 木 工 学 科	建築コース
		土木コース
	原子力技術応用工学科	原子力工学コース
		放射線応用コース
環　境　学　部	環境食品応用化学科	環境化学コース
		食品バイオコース
	デ ザ イ ン 学 科	都市デザインコース
		メディアデザインコース
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	データサイエンスコース
		経営システムコース
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	スポーツ産業コース
		地域スポーツ指導者コース
		競技スポーツコース

●コースは入学後本人の希望により決定します。
●自動車システムコースは定員50名です。

2．出願資格

日本の国籍を有しない者で、次の①～③のすべてに該当し、かつ、日本語で行われる授業が理解できる者。

①　次のいずれかに該当する者

ア　外国において、学校教育法における12年の課程を修了した者および令和9年３月31日までに修了見込みの者もしくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ　スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年４月1日から令和9年３月31日までに取得した者および取得見込みの者

ウ　ドイツ連邦共和国各州におけるアビトゥア資格を令和7年４月１日から令和9年３月31日までに取得した者および取得見込みの者

エ　フランス共和国におけるバカロレア資格を令和7年４月１日から令和9年３月31日までに取得した者および取得見込みの者

オ　外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者および令和9年３月31日までに修了見込みの者

② 出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
③ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する令和8年度(2026)日本留学試験(令和8年６月または令和8年11月のいずれか)の本学が指定する次の教科・科目のすべてを受験した者

<table>
<tr><td rowspan="8">日本留学試験
受験指定
教科・科目</td><td colspan="8">
<table>
<tr><th rowspan="2">学部</th><th rowspan="2">学　科</th><th rowspan="2">日本語</th><th rowspan="2">数学</th><th rowspan="2">総合科目</th><th colspan="3">理科</th></tr>
<tr><th>物理</th><th>化学</th><th>生物</th></tr>
<tr><td rowspan="4">工学部</td><td>電気電子情報工学科</td><td rowspan="8">○</td><td rowspan="4">○
(コース２)</td><td></td><td rowspan="4">○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>機械工学科</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>建築土木工学科</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>原子力技術応用工学科</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境学部</td><td>環境食品応用化学科</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">○
(化学、生物から高得点科目で判定)</td></tr>
<tr><td>デザイン学科</td><td rowspan="3">○
(コース1or2)</td><td rowspan="3">○
(総合科目 or 理科から高得点科目で判定
総合科目は100点満点に換算)</td></tr>
<tr><td>経営情報学部</td><td>経営情報学科</td></tr>
<tr><td>スポーツ健康科学部</td><td>スポーツ健康科学科</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>出題言語</td><td>日本語または英語</td></tr>
<tr><td>成績利用</td><td>成績結果は、令和8年6月または11月試験のいずれか一方しか利用できません。</td></tr>
</table>

〔注意〕日本の永住許可を得ている者は、この選抜には出願できません。

3．選考方法

日本留学試験の成績、面接および出願書類により総合的に選考します。

4．試験日程

	出願期間（締切日消印有効）	試　験　日	合格発表日
Ⅰ期	令和８年10月２日(金)～10月21日(水)	令和８年11月７日(土)	令和８年11月30日(月)
Ⅱ期	令和９年１月４日(月)～１月21日(木)	令和９年２月19日(金)	令和９年２月26日(金)

5．試験時間割

9：30～	9：40～
受験上の注意	面　　接（個人面接形式で行います 1人あたり約15分）

※面接開始から20分以上の遅刻は認めません

6．試験会場

（地方試験会場案内図は12ページです）

	会場名	所在地	電話番号
福井（本学）	福井工業大学（福井キャンパス）	福井市学園３丁目６番１号	0120－291－780
東京	AP日本橋	中央区日本橋３－６－２ 日本橋フロント 6F	03－3273－3109
大阪	新大阪丸ビル別館	大阪市東淀川区東中島１丁目18番22号 新大阪丸ビル別館	06－6325－1302

出　願　手　続

1．出願書類

出願は、本学所定の出願用封筒を用い、簡易書留の速達で郵送または直接持参により行ってください。

(1) 出願書類を郵送する場合

① **簡易書留の速達**でⅠ期：10月21日（水）、Ⅱ期：1月21日（木）（ともに締切日消印有効）までに郵送してください。

② 受験票は後日返送します。なお、出願後、試験日の３日前になっても受験票が返送されてこない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

(2) 出願書類を持参する場合

① 出願締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に出願書類を提出してください。
受付時間は次のとおりです。
平日：９時～17時
（土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（令和8年12月25日㈮～令和9年1月4日㈪）を除く）

② 受験票は後日返送します。なお、出願後、試験日の３日前になっても受験票が返送されてこない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

出願先　〒910-8505 福井市学園３丁目６番１号　福井工業大学 入学センター 入試広報課
0120－291－780（フリーコール）

①入学志願票	本学所定の用紙。	
②受験票･写真票･副票	本学所定の用紙。 写真票には、出願前３ヶ月以内に撮影した、上半身、脱帽正面向き、縦4㎝×横3㎝の写真（裏面に氏名を記載）を貼付。 副票には検定料払込受付証明書を貼付。	
③履歴書	本学所定の用紙。	
④最終出身学校の卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書	出願資格①ア	本国における最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 ※日本語以外の証明書は日本語訳を添付すること。
	出願資格①イ	国際バカロレア資格証書（写）及び最終試験の成績証明書
	出願資格①ウ	アビトゥアの一般的大学入学資格証明書（写）
	出願資格①エ	バカロレア資格証書（写）及びバカロレア資格試験成績証明書
⑤最終出身学校の成績証明書	本国における最終出身学校（日本の高等学校に相当する学校）の在籍期間すべての成績証明書 ※日本語以外の証明書は日本語訳を添付すること。	
⑥日本留学試験の成績確認書	独立行政法人日本学生支援機構のEJUオンラインから印刷した成績確認書 ※令和8年6月または11月実施のいずれかの成績確認書を提出してください。	
⑦経費支弁書	本学所定の用紙　※日本語以外で記入されている場合は、日本語訳を添付すること。 ※志願者本人は経費支弁者に該当しません。	
⑧パスポートの写し	顔写真・氏名および旅券番号・発行年月日が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。	
⑨在留カードの写し	顔写真･氏名および在留資格･在留期間が記載されている面をA4サイズの用紙にコピーして提出してください。	
⑩日本語教育機関の成績証明書（該当者のみ）	日本において日本語教育機関を修了した者および令和9年3月までに修了見込みの者は提出してください。 ※日本語教育機関とは、日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等をさします。	

⑪住　　民　　票	市区町村窓口で交付された原本を提出してください。 （志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が記載されているもの）
⑫アンケート用紙	合否には関係しませんが必ず提出してください。

2．入学検定料

30,000円

① 本学所定の振込用紙により金融機関または福井工業大学出納窓口で納入してください。
一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものをご提出ください。

② 納入時に発行される「検定料払込受付証明書」に金融機関または本学の振込受付印が押印されていることを確認の上、副票の所定欄に貼付してください。

3．出願上の注意

① 出願資格を満たさない場合および出願書類に不備がある場合は受理しません。

② 一旦提出された出願書類や入学検定料は返還しません。

③ 出願書類提出後の志望学部・学科および試験地の変更はできません。

④ 入学決定後においても出願書類等の記載が事実と相違することが発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

⑤ 受験および就学に際して、特別な配慮が必要となる障害がある場合は、出願前に福井工業大学入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）までご連絡ください。
※本学の入学試験において「障害がある」とは、「視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害および精神障害、発達障害等の障害があり、障害者手帳を有する、または、その他何らかの個別支援を要し、その旨を示す診断書等を有している状態」のことです。

⑥ 本学では、合否にかかわらず、出身日本語教育機関に入学試験の結果をお知らせします。各校にはデータの取り扱いに守秘をお願いし、利用の目的を「今後の進学指導上の資料」に限定し提供しています。

受 験 上 の 注 意

1．試験室の入退室

(1) 試験日当日は、「受験上の注意」開始時間前までに受験者控室に入り、受験番号の席に着席してください。
(2) 試験日当日受験票を必ず持参し、指定された席の机上に提示してください。忘れた場合は、試験開始前に申し出てください。
(3) 携帯電話・スマートフォンおよびこれに類するものは、受験者控室に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまってください。また、これらを時計の代わりとして使用することはできません。
(4) 入退室の際は受験票を携帯してください。
(5) 面接開始から20分以上の遅刻は原則認めません。ただし、試験当日の公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により面接開始時刻に到着できない場合には、直ちに福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）まで連絡してください。
(6) 面接試験が終了した人は、再び受験者控室には戻れません。
(7) 上ばきは不要です。

2．そ の 他

(1) 前日に試験会場を下見する場合は、建物位置の確認のみで、受験者控室および試験室へは入れません。
(2) 本学会場で受験する場合、受験時の宿泊として、本学に隣接する宿泊施設があります。試験会場まで徒歩約３分です。
詳細は次の宿泊施設まで直接お問い合わせください。

お問い合わせ先 福井アカデミアホテル　〒910-0034 福井市菅谷1-1-22
TEL 0776－29－1020　http://www.fukui-academia.com/

合　格　発　表

1．合格発表日

試験区分	合格発表日（本人宛通知）	試験区分	合格発表日（本人宛通知）
Ⅰ　期	令和８年11月30日（月）	Ⅱ　期	令和９年２月26日（金）

2．発 表 方 法

① 合格発表日に受験者全員に本学から合否通知書を入学志願票に記入された住所の本人宛に簡易書留の速達で郵送します。なお、合否通知書は発表日当日に発送しますので、地域により翌日以降の到着となります。
② 福井工業大学オンライン合否照会にて「合否確認」ができます。
下記の**「福井工業大学オンライン合否照会について」**を参照してください。
なお、福井工業大学オンライン合否照会による合否確認は受験生の便宜を考慮し、補助的な方法として通知するもので、本学から郵送する合否通知書をもって正式のものとします。
③ 電話等による合否に関する問い合わせにはお応えできません。
④ 学内掲示は行いません。

福井工業大学オンライン合否照会について

「福井工業大学オンライン合否照会〔https://exam-entry.52school.com/fukui-ut/result/rules〕」で、合格発表日の午前９時から３日間確認できます。各自でアクセスして、合否を確認してください。
1．オンライン合否照会には、携帯電話･スマートフォンとパソコンのどちらからでもアクセスできます。URLは共通です。
2．午前９時前にアクセスした場合は、９時になっても（再度アクセスまたは更新をしないと）合否を確認できません。必ず午前９時以降にアクセスしてください。
また、サービス開始直後はつながりにくい状態になることが予想されます。
その場合はしばらく時間を置いてからアクセスしてください。

入　学　手　続

1．入学手続方法

(1) 合格者には合格通知書とともに「入学手続要項」を送付します。入学手続要項に従って、指定期日までに入学手続を完了してください。
(2) 入学手続を完了した者には、３月に入学許可書を送付します。

2．入学手続の必要書類

(1) 第１次手続

入学金を指定期日までに納入し、金融機関の振込受付印が押印された「入学金振込受付証明書」を第１次手続締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に提出してください。

(2) 第２次手続

次の①～⑨の書類を第２次手続締切日までに福井工業大学 入学センター 入試広報課に提出してください。

① 前期納入金振込受付証明書

前期学納金および委託徴収金を指定期日までに納入し、金融機関の振込受付印が押印された「前期納入金振込受付証明書」を提出してください。

② 身元保証書

保証人を、次の優先順位により届け出てください。（原則として独立して生計を営む方）

優先順位 …… ① 日本に在住する親またはその他の親族
② 日本に在住しない親またはその他の親族
③ ①、②ともにいない場合に限り、日本に在住する知人など

［提出書類］●保証人が日本国内在住者の場合
身元保証書および住民票（外国人登録原票記載事項証明書）
●保証人が日本国外在住者の場合
身元保証書および保証人の住所・氏名が記載された公的機関が発行する証明書

③ 国内連絡先（該当者のみ）

保証人が日本国外在住者の場合、日本に在住し、次の役割を果たす人を「国内連絡先」により届け出てください。

① 在学中、留学生に諸問題が発生した場合には、本学と連絡を取り合うことが可能な人物。
② 本学から要請がある場合には、本人への連絡等適切に対応することが可能な人物。

国内連絡先の例： 日本に在住する兄弟姉妹、配偶者またはその他の親族、友人、知人など。できる限り社会人で独立して生計を営み、日本語能力が十分である者が望ましい。

④ 誓 約 書
⑤ 誓 約 書（付記）
⑥ カラー写真２枚
⑦ 学生証顔写真貼付台紙
⑧ 保護者台帳
⑨ 現在通っている学校の卒業（修了）証明書（日本語教育機関を含む）

卒業（修了）見込で受験した者は、卒業後すみやかに卒業（修了）証明書を提出してください。

3．入学手続締切日

	第1次手続締切日（締切日消印有効）	第2次手続締切日（締切日消印有効）
Ⅰ　期	令和９年１月７日(木)	令和９年１月７日(木)
Ⅱ　期	令和９年３月12日(金)	令和９年３月12日(金)

4．入学手続の注意事項

(1) 指定期日までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとして取り扱います。
(2) 一旦提出された書類および納入された入学金は返還いたしませんのでご注意ください。詳細は「入学手続要項」を参照してください。
(3) 第２次手続完了者のうち令和9年3月31日までに本学所定の用紙で入学辞退手続を完了した場合、入学金以外の納入金を返還します。郵送の場合必着です。
(4) 必要書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、書類提出前に十分確認してください。

納　　入　　金

1．初 年 度

	納期／種別	前期（入学手続時）		後期（12月）	年額
工学部・環境学部・経営情報学部	入学金	第1次手続時	250,000円	—	250,000円
	授業料	第2次手続時	510,000円	510,000円	1,020,000円
	設備充実費		145,000円	145,000円	290,000円
	実験実習費		55,000円	55,000円	110,000円
	厚生衛生費（冷暖房費含む）		20,000円	20,000円	40,000円
	合計		**980,000円**	**730,000円**	**1,710,000円**

	納期／種別	前期（入学手続時）		後期（12月）	年額
スポーツ健康科学部	入学金	第1次手続時	250,000円	—	250,000円
	授業料	第2次手続時	485,000円	485,000円	970,000円
	設備充実費		155,000円	155,000円	310,000円
	実験実習費		55,000円	55,000円	110,000円
	厚生衛生費（冷暖房費含む）		20,000円	20,000円	40,000円
	合計		**965,000円**	**715,000円**	**1,680,000円**

①**上記の納入金以外に、委託徴収金（学友会費、後援会費等）として、43,160円が入学手続の第２次手続時に必要となります。**※委託徴収金は内容および金額が変更となる場合があります。
②物価等の推移により学納金を改定する場合もあります。
③金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合、振込みを行う方の本人確認書類が必要となります。詳細は合格通知書同封の「入学手続要項」を参照してください。

2．学費減免奨学金

学部私費外国人留学生選抜での入学予定者は、選考の上、学納金を減免します。（私費外国人留学生奨学金）詳細は11ページを参照してください。

私費外国人留学生に関する奨学金制度

1．私費外国人留学生奨学金

学部私費外国人留学生選抜での入学予定者（「留学」の在留資格を有する留学生で、国費外国人留学生以外の者とする）もしくは本学の学部に在籍する私費外国人留学生の初年度納入金について、経済的理由により就学が困難であり、本学での学習意欲を持つ者に対し選考により、**学納金の半額を減免します。**

年度末に学業成績等による継続審査を行います。継続条件を満たすことにより、次年度も学納金の半額を減免します。毎年度継続条件を満たせば、入学時から最大４年間の学納金を減免します。

《継続条件》 次のすべてを満たすことを要件とします。

①各学年修了時の通算学業成績GPAが1.50以上あること。

②年間修得単位数が30単位以上であり、かつ総修得単位数が1年次に30単位以上、2年次に60単位以上、3年次に96単位以上あること（ただし、3年修了時に96単位以上修得している場合の年間修得単位数は問わない）。

③担当教員又は指導教員との面談を毎学期末に行った上で推薦を受けており、継続して学業を修める意思が確認できること。

〈参考〉 納 入 金

	福井工業大学通常額			
初年度	入学金 250,000円 学納金 1,460,000円 ※工学部･環境学部･経営情報学部 合 計 1,710,000円	－	年額 **730,000円** を減免	＝ 入学金 250,000円 学納金 730,000円 ※工学部･環境学部･経営情報学部 合 計 **980,000円**
	入学金 250,000円 学納金 1,430,000円 ※スポーツ健康科学部 合 計 1,680,000円	－	年額 **715,000円** を減免	＝ 入学金 250,000円 学納金 715,000円 ※スポーツ健康科学部 合 計 **965,000円**
2年次以降	福井工業大学通常額 ※工学部･環境学部･経営情報学部 学納金 1,460,000円	－	年額 **730,000円** を減免	＝ 学納金 **730,000円**
	※スポーツ健康科学部 学納金 1,430,000円	－	年額 **715,000円** を減免	＝ 学納金 **715,000円**

2．私費外国人留学生生活奨学金

本学学部に在籍する学部１年次後期以上の私費外国人留学生の中から成績優秀者を奨学生として採用し、月額３万円を給費します。ただし、申請年度内のみ適用となります。

《選考基準》 次のすべてを満たすことを要件とします。

①前学期までの成績GPA評価3.80以上であり、かつ私費外国人留学生のうち、上位5位以内であること。

②担当教員または指導教員から推薦を受けた者。

お問い合わせ先

1．日本留学試験について

独立行政法人日本学生支援機構　留学生事業部留学試験課
〒153-8503　東京都目黒区駒場４－５－29　TEL 03－6407－7457　FAX 03－6407－7462

2．福井工業大学入学試験について

福井工業大学　入学センター 入試広報課　　TEL 0120－291－780（フリーコール）

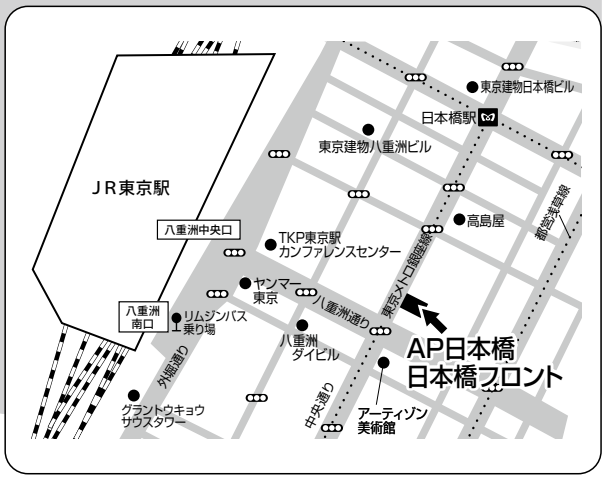
3．福井工業大学奨学金制度について

福井工業大学　学務課　　TEL 0776－29－7867

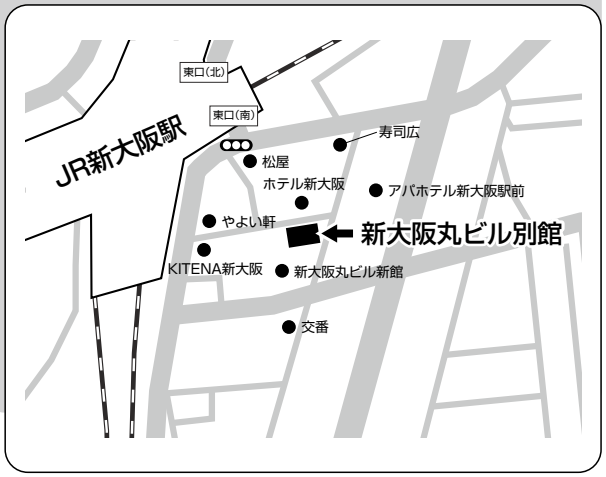
地方試験会場案内図

●本学会場は巻末に掲載

東京・AP日本橋 日本橋フロント 6F



大阪・新大阪丸ビル別館



（大学記入欄）

受験番号	

令和9年度

福井工業大学　学部　私費外国人留学生選抜　入学志願票

APPLICATION FOR ADMISSION TO FUKUI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

This form must be completed by the applicant.
1. Please use a black pen to fill out this form.
2. Please hand in the examination card and photo card together with this form.

Choice for your faculty&department 志望学部・学科	Faculty 学部	Department 学科	
フリガナ			
Full Name 氏　名 (as it appears on your passport)			Examination place・code 試験地・コード 福井・18 東京・13 大阪・27
Your Previous School 出身学校			
Nationality 国　籍		Sex 性　別	Male　Female 男　・　女
Date of Birth 生年月日	西暦　year　month　day 年　月　日	Age 年　齢	歳
Passport 旅券 Number 番号		Residence card 在留カード Number 番号	
Passport 旅券 Date of Issue 発行年月日		Residence card 在留カード Expiration date 有効期限	
Status of Residence 在留資格		Marital Status 婚姻の有無	Married　Single 既婚　・　未婚
Home Address 本国の住所			
Phone			
Present Address 現住所	〒		
Phone		E-mail address	
Examination for Japanese University Admission for International Students 日本留学試験受験状況	Application Number 受験番号		
	Date of Exam 受験年月	Year　Month 年　月 実施分	

郵　便　は　が　き

速　達

料金後納
郵　便

□□□-□□□□

令和9年度 福井工業大学学部
私費外国人留学生選抜　受　験　票

（住所）

様方

（氏名）　様

受験番号	※

試験地	

試験区分	Ⅰ　期	Ⅱ　期

※印欄には記入しないでください。

志望学部・学科	学部
	学科

志願票受付印
※

●受験票を確実に受けとれる郵便番号・住所・宛名を明記してください。

きりはなさないでください

令和9年度 福井工業大学学部
私費外国人留学生選抜
写　真　票

※Leave this space blank.
※欄には記入しない。

受験番号	※
試験区分	Ⅰ 期　Ⅱ 期
試 験 地	

Photograph
写　真

from the-waist-up,
full face, recently taken
(4cm long, 3cm broad)

上半身脱帽正面向き
最近撮影したもの
（縦4cm，横3cm）

カタカナ	
Name 氏　名 Roman alphabet （アルファベット）	
Choice for your faculty&department 志望学部・学科	Faculty 学　部
	Department 学　科

きりはなさないでください

令和9年度 福井工業大学学部
私費外国人留学生選抜　**副　票**

検定料払込受付証明書
貼　付　欄

金融機関で納入した検定料払込受付証明書に領収印を受けたものを貼付してください。

試験日	Ⅰ期	令和８年11月７日（土）
	Ⅱ期	令和９年２月19日（金）

試験時間割

9：30～	受験上の注意
9：40～	面　接 （個人面接形式で行います）

注　意　事　項

1. 試験会場では本票を常に携帯してください。
2. 「受験上の注意」開始時間前までに受験者控室に入ってください。
3. 携帯電話・スマートフォンおよびこれに類するものは、受験者控室に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまってください。また、これらを時計の代わりとして使用することはできません。
4. 面接開始から20分以上の遅刻は認めません。
5. 面接試験が終了した人は、再び受験者控室へは戻れません。
6. 上ばきは不要です。

（大学記入欄）

受験番号

令和9年度　福井工業大学学部　私費外国人留学生選抜

履　歴　書 (Resume)

Full Name 氏　名	Must be filled out by the applicant. 本人が自筆で記入

■学歴
Educational Background

※通学したすべての学校（小学校から）年代順に記入してください。
List in chronological order all the schools you attended (including primary school).

Name of School　学校名 Address of School　所在地	Date of Entrance 入学年月	Date of Graduation 卒業年月	Term of Study 修業年限
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年

■学歴（日本国内）　日本語学校、専門学校など
Educational Background in Japan (Japanese Language School, Vocational School and Others)

Name of School　学校名 Address of School　所在地	Date of Entrance 入学年月	Date of Graduation 卒業年月	Term of Study 修業年限
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年

■職歴
Employment History

Name of Employment　勤務先名 Address of Employment　所在地	Period of Employment 期　間
	year 年　month 月　～　year 年　month 月
	year 年　month 月　～　year 年　month 月

I hereby declare the above statement is true and correct.
以上の通り、相違ありません

Year 年　Month 月　Day 日　Signature of Applicant 志願者署名

（大学記入欄）

受験番号

令和9年度　福井工業大学学部　私費外国人留学生選抜

Expenses Payment

経 費 支 弁 書

Applicant's Full Name 志願者氏名		Sex 性別	M　F 男 ・ 女
Date of Birth 生年月日	year　month　day 年　月　日	Nationality 国籍	

Below are my reasons for becoming the financial guarantor of the student mentioned above and the means of financial support the student will receive upon his/her application to Fukui University of Technology.

私は、このたび上記の者の貴学留学にあたっての経費支弁者になりましたので、下記のとおり経費支弁の引き受け経緯を説明するとともに経費支弁について証明します。

記　Account

1. Reasons for becoming a financial guarantor (Please give a detailed account of your relationship with the applicant and reasons for your decision to become a financial guarantor).

経費支弁の引き受け経緯（志願者の経費支弁を引き受けた経緯および志願者との関係について具体的に記載してください。）

2. 経費支弁内容　Details

I, _____ certify that I will pay for the expenses incurred during the stay of the applicant in Japan.

In addition, when the above applies for the renewal of his/her visa, I will submit the documents which certify my payment for his/her expenses. The documents may be a remittance certificate, or a copy of the applicant's bank account (in which evidence of remittance or expense payment is given).

私 _____ は、上記の者の日本滞在について、下記のとおり経費支弁することを証明します。また、上記の者が在留期間更新許可申請の際には、送金証明書又は本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

（1）　Tuition　学　費　Yearly　年　間　_____ yen 円

（2）　Living Expenses　生 活 費　Monthly　月　額　_____ yen 円

（3）　Means of Financial Support (Please write in detail the method of financial support: remittance/deposits)
支弁方法　（送金・振込み等支弁方法を具体的に書いてください。）

Name of Financial Sponsor:
経費支弁者氏名 _____

Nationality:
国　籍 _____

Present Address:
現　住　所 _____

Telephone:
電　話 _____

Place of Work:
勤　務　先 _____

Telephone:
電　話 _____

Occupation:
職　業 _____

Date of Birth:　year　month　day
生年月日 _____ 年　月　日

Relationship to the Applicant:
志願者との関係 _____

Date:　year　month　day
日　付 _____ 年　月　日

Signature:
署　名 _____

令和9年度

アンケート用紙

※記入しないでください。

福井工業大学

❖このアンケートは、合否に一切関係ありませんが、出願時に必ず提出してください。

※該当する番号を○で囲んでください。

◆志望学部・学科

〈工　学　部〉　1. 電気電子情報工学科　2. 機械工学科　3. 建築土木工学科　4. 原子力技術応用工学科

〈環 境 学 部〉　5. 環境食品応用化学科　6. デザイン学科

〈経営情報学部〉　7. 経営情報学科

〈スポーツ健康科学部〉　8. スポーツ健康科学科

◆性別

1. 男　2. 女

1．本学への受験を決めた時期はいつですか？（1つ）

※複数回答は無効となります。

1．令和8年４月より前　2．令和8年４～６月頃　3．令和8年７～９月頃
4．令和8年10～12月頃　5．令和9年１月以降

2．福井工業大学をどのようにして知りましたか？（複数可）

1．知人･先輩から聞いて　2．先生から聞いて　3．本学広報誌で（名称：　　）
4．進学雑誌で（名称：　　）　5．進学説明会で　6．ポスターを見て
7．本学ホームページを見て　8．テレビＣＭを見て　9．ＦＭラジオのＣＭを聴いて
10．新聞を見て　11．その他（　　）

3．福井工業大学に関心を持った理由は何ですか？（複数可）

1．自分の学力に合っている　2．学科･コースに興味があった　3．教授陣が良い
4．施設設備が充実している　5．就職率が高い　6．研究内容に興味を持った
7．クラブ活動が盛ん　8．大学院がある　9．高校の先生にすすめられた
10．先輩や知り合いが在学している　11．自宅から通える　12．少人数教育である
13．一人ひとりに適した親切な指導　14．本学独自の奨学金制度がある　15．その他（　　）

4．本学のオープンキャンパスに参加したことがありますか？またそれはいつですか？（複数可）

1．3月　2．4月　3．6月　4．7月　5．8月　6．9月　7．10月
8．参加しなかった

5．あなたが本学を受験する決め手となった情報は何ですか？（複数可）

1．知人･先輩から聞いた情報　2．先生から聞いた情報　3．本学広報誌で（名称：　　）
4．進学雑誌で（名称：　　）　5．進学説明会で　6．ポスターを見て
7．本学ホームページを見て　8．テレビＣＭを見て　9．ＦＭラジオのＣＭを聴いて
10．新聞を見て　11．オープンキャンパスに参加して（学校見学会）
12．家族のすすめで　13．本学独自の奨学金制度　14．その他（　　）

ご協力、ありがとうございました。

（注　意）
●裏面の「注意事項」をよく読んでご記入ください。
●太枠内は、払込人が必ずご記入ください。
●一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものをご提出ください。

全学部共通

令和9年度 福井工業大学入学試験検定料

振　込　依　頼　書

電信扱

福井銀行本店　御中

令和　　年　　月　　日

科目	普　通　預　金	口座番号	6083053
受取人	学校法人（ガッコウホウジン）　金井学園（カナイガクエン）		
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL	金額	￥30000
		現金	
		自店券	
		他店券	
試験区分	○で囲む　1. 私費外国人留学生選抜Ⅰ期　2. 私費外国人留学生選抜Ⅱ期	勘定店	出納印 振替科目
持出店交換印			

持出店：検印　受付

勘定店：検印　精査　出納　記録

（払込人→取扱店）

切りはなさないでください。

納入済通知書

全学部共通

令和9年度 福井工業大学入学試験検定料

試験区分	○で囲む	1. 私費外国人留学生選抜Ⅰ期 2. 私費外国人留学生選抜Ⅱ期
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL	
払込金額		￥30000（十 万 千 百 十 円）
払込銀行	福井銀行本店	
		銀行日付印

学校法人　金井学園
（払込人→取扱店→取まとめ店→金井学園）

領　　収　　書

全学部共通

令和9年度 福井工業大学入学試験検定料

試験区分	○で囲む	1. 私費外国人留学生選抜Ⅰ期 2. 私費外国人留学生選抜Ⅱ期
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL	
払込金額		￥30000（十 万 千 百 十 円）
払込銀行	福井銀行本店	
		銀行日付印

学校法人　金井学園
（払込人保存用）

（志願票貼付用）

検定料払込受付証明書

全学部共通

令和9年度 福井工業大学入学試験検定料

試験区分	○で囲む	1. 私費外国人留学生選抜Ⅰ期 2. 私費外国人留学生選抜Ⅱ期
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL	
払込金額		￥30000（十 万 千 百 十 円）
払込銀行	福井銀行本店	
		銀行日付印

学校法人　金井学園

注　意　事　項

（本振込用紙を使用する場合）

① 入学検定料は、必ず本学指定のこの検定料振込用紙を使用して全国の金融機関から払い込んでください。ATM（現金自動預入支払機）の使用はご遠慮ください。

② 払込人氏名は受験者本人の氏名としてください。

③ 払い込みの際には、金融機関の領収印を押した「領収書」と「検定料払込受付証明書」を必ず受取ってください。領収印のないものは無効です。

④ 「検定料払込受付証明書」を副票の所定欄に貼付してください。

⑤ 手数料については、依頼人負担にてお願いいたします。

各金融機関へお願い

本学入学試験の出願期間（締切日消印有効）は以下の通りです。

（対象の試験区分）

学部	私費外国人留学生選抜Ⅰ期　令和８年10月２日（金）～10月21日（水）
	私費外国人留学生選抜Ⅱ期　令和９年１月４日（月）～１月21日（木）

速 達

910-8505

切　手

（簡易書留料
速　達　料）

貼付のこと。

福井市学園3丁目6番1号

福井工業大学
入学センター入試広報課 行

簡易書留

出願書類在中

学部　私費外国人留学生選抜

○をつける	試験区分	出願締切日（締切日消印有効）
	Ⅰ期	出願締切日　令和8年10月21日（水）（締切日消印有効）
	Ⅱ期	出願締切日　令和9年 1 月21日（木）（締切日消印有効）

※1 封をする前に裏面を読み、確認してください。
※2 出願書類記入の際は、必ず黒ボールペンまたは万年筆を使用してください。

志望学部・学科	学部　　学科		
住所	〒□□□-□□□□		
フリガナ			
氏名			
電話番号	（　　）　　－		
試験地（◯で囲む）	福井（本学）	東京	大阪

この封筒の中に下記の該当書類がすべて入っているか確認してください。	チェック
1. 入学志願票	
2. 受験票・写真票・副票	
3. 履　歴　書	
4. 最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書	
5. 最終出身学校の成績証明書	
6. 日本留学試験の成績確認書	
7. 経費支弁書	
8. パスポートの写し	
9. 在留カードの写し	
10. 日本語教育機関の成績証明書（該当者のみ）	
11. 住民票	
12. アンケート用紙	

令和9年度(2027)

福井工業大学 大学院工学研究科
私費外国人留学生推薦選抜 入学試験要項

博士前期課程・博士後期課程

福井工業大学大学院工学研究科 私費外国人留学生推薦選抜

目　　次

福井工業大学大学院工学研究科 アドミッション･ポリシー，組織 …… 13

大学院教育課程，コースワークの概要 …… 14

各専攻の人材の養成及び教育研究上の目的 …… 15

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜入学試験要項 … 16

- 募集人員
- 出願資格
- 選抜方法
- 出願手続
- 出願上の注意事項
- 受験上の注意事項
- 合格発表
- 入学手続締切日
- 学費減免奨学金

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科 博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜入学試験要項 … 20

- 募集人員
- 出願資格
- 選抜方法
- 出願手続
- 出願上の注意事項
- 受験上の注意事項
- 合格発表
- 入学手続締切日
- 学費減免奨学金

大学院工学研究科入学手続（博士前期課程および博士後期課程　共通）…… 23

- 入学手続方法
- 入学手続上の注意事項
- 入学手続書類提出先
- 納入金

私費外国人留学生に関する奨学金制度 …… 24

- 私費外国人留学生奨学金
- 大学院進学奨励奨学金
- 私費外国人留学生生活奨学金

お問い合わせ先 …… 24

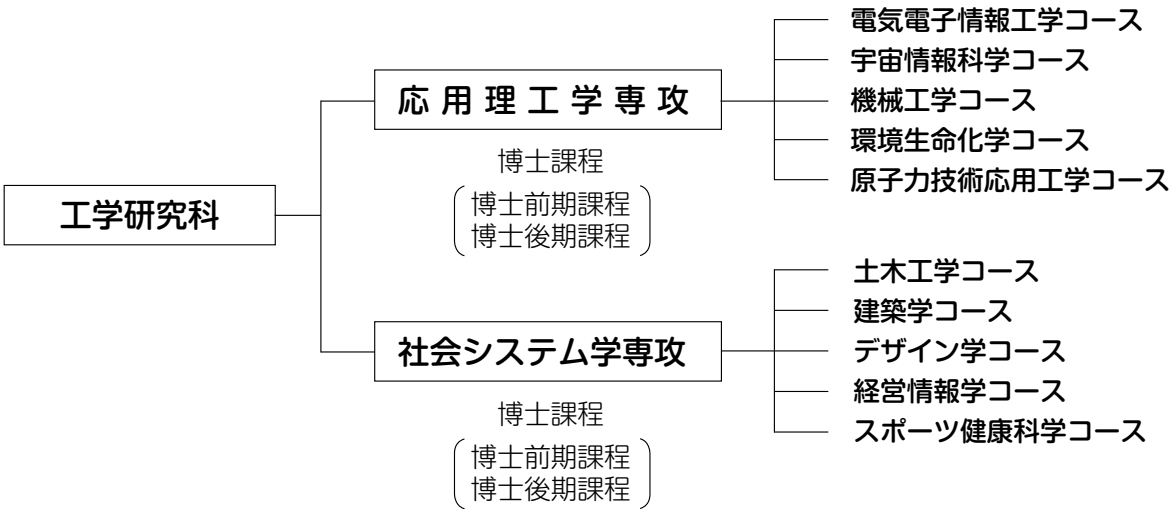
応用理工学専攻・社会システム学専攻　コースとその専門分野の概要 …… 25

出願書類

福井工業大学大学院工学研究科 アドミッション・ポリシー

福井工業大学（以下､｢本学｣という｡）大学院工学研究科（以下､｢工学研究科｣という｡）は、応用理工学専攻と社会システム学専攻の2専攻で構成され、それぞれの専攻に博士前期課程（標準修業年限2年）と博士後期課程（同3年）からなる博士課程が置かれている。各専攻には複数のコースが設けられ、博士前期課程では主として高度専門職技術者の養成、博士後期課程では主として研究者の養成に重点を置いている。工学研究科では、学校法人金井学園の「建学の精神」に基づき、専攻・課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）に定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、コース毎にアドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）を定めている。工学研究科では、推薦選抜、一般選抜、社会人選抜など複数の方式の選抜を実施してアドミッション・ポリシーにふさわしい多様な人材を受け入れる。工学研究科の特色ある教育研究を通して、21世紀の知識基盤社会において国内外で活躍し、人類社会の福祉と発展に貢献することのできる人材を育成する。

福井工業大学大学院工学研究科 組織



大　学　院　教　育　課　程

博士前期課程

広い視野に立って精深な学識を修め、専門分野における理論と応用の研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を養うものとする。

（大学院学則 第１章総則 第３条）

博士後期課程

専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を養うものとする。　（大学院学則 第１章総則 第４条）

博士前期課程コースワークの概要

授業科目

２専攻共通科目

・専門英語特別演習Ⅰ・Ⅱ
・応用数学特論Ⅰ・Ⅱ
・職業と倫理
・科学技術政策特論

各専攻の専門分野科目

全コース共通専門科目

応用理工学専攻
・エネルギー変換特論
・材料・デバイス特論

社会システム学専攻
・プロジェクトマネジメント特論
・情報工学特論
・サスティナブルデザイン特論

コース間共通専門科目

コース専門科目

博士後期課程コースワークの概要

授業科目

２専攻共通科目

・大学教員養成セミナー（プレFD）

コース専門科目

・特別ゼミナールⅠ
・特別ゼミナールⅡ
・特別ゼミナールⅢ
・特別ゼミナールⅣ
・特別ゼミナールⅤ
・特別ゼミナールⅥ

各専攻の人材の養成及び教育研究上の目的

応用理工学専攻	博士前期課程	電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の５コースを設置し、以下のような各コースの専門分野の教育並びに研究を行い、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成する。各コースの専門分野は、以下の通りである。 **（電気電子情報工学コース）** 電力工学、電子材料・デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学、人工知能 **（宇宙情報科学コース）** 宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学 **（機械工学コース）** 材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学 **（環境生命化学コース）** 応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学 **（原子力技術応用工学コース）** 原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学
	博士後期課程	電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の５コースにおける専門分野の教育並びに研究を行い、基幹あるいは先端理工学分野における目覚しい科学･技術の発展に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を養成する。
社会システム学専攻	博士前期課程	土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学、スポーツ健康科学の５コースを設置し、各コースの専門分野の教育並びに研究を行い、広い視野と高度な専門知識･技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成する。各コースの専門分野は、以下の通りである。 **（土木工学コース）** 土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学、防災工学 **（建築学コース）** 建築論･計画･設計、伝統木造建築、建築構造工学、建築環境･設備 **（デザイン学コース）** 生活創造科学、生産･環境デザイン学、情報･伝達デザイン学 **（経営情報学コース）** 経営学、政策科学、情報科学、データサイエンス **（スポーツ健康科学コース）** スポーツ科学、健康科学
	博士後期課程	土木工学、建築学、デザイン学、経営情報学、スポーツ健康科学の５コースにおける専門分野の教育並びに研究を行い、建築や社会基盤の計画･調査･設計･施工･維持管理、デザインによる生活文化や生産･環境･情報の価値創造、プロジェクトマネジメント、望ましい情報社会の構築、科学的根拠に基づく運動指導及びスポーツ産業の発展に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を養成する。

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科
博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜入学試験要項

1. 募集人員

専　　攻	コ　ー　ス	募集人員
応用理工学専攻	電気電子情報工学コース	若干名
	宇宙情報科学コース	
	機械工学コース	
	環境生命化学コース	
	原子力技術応用工学コース	
社会システム学専攻	土木工学コース	若干名
	建築学コース	
	デザイン学コース	
	経営情報学コース	
	スポーツ健康科学コース	

2. 出願資格

日本の国籍を有しない者かつ出身学校（日本語学校含む）の学校長、指導教員またはそれに準ずる者からの推薦のある者で、次の各号のいずれかに該当する者

(1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および令和9年3月31日までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者および令和9年3月31日までに授与される見込みの者
(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、学士号を取得した者および令和9年3月31日までに取得見込みの者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けた者またはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および令和9年3月31日までに授与される見込みの者
(7) 文部科学大臣の指定した者
(8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で令和9年3月31日までに22歳に達する者

ただし、出願資格(8)による出願希望者は、事前に出願資格の審査を行うので、次の必要書類を個別入学資格審査(※)受付期間内に福井工業大学 入学センター 入試広報課に提出してください。

なお、郵送の場合は簡易書留の速達としてください。提出書類をもとに出願資格審査を行い、審査結果を本人宛に通知します。

①入学試験出願資格認定審査申請書（本学大学院所定の用紙）
②履歴書（本学大学院所定の用紙）
③志望理由書（本学大学院所定の用紙）
④志望専攻・コースおよび希望する研究分野・内容（本学大学院所定の用紙）
⑤研究業績報告書
⑥最終出身学校の成績証明書
⑦最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
⑧住民票
⑨パスポートの写し
⑩在留カードの写し
⑪出身学校（日本語学校含む）からの推薦書

提出先 〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号 福井工業大学 入学センター 入試広報課

※個別入学資格審査日程

試験区分	受付期間（締切日消印有効）	審査結果発表
Ⅰ 期	令和８年６月15日(月)～ 令和８年７月３日(金)	令和８年７月21日(火)までに 本人宛通知
Ⅱ 期	令和８年11月９日(月)～ 令和８年11月24日(火)	令和８年12月４日(金)までに 本人宛通知

審査の結果、出願資格の認定を受けた者は、「4. 出願手続」に基づき、出願期間内に出願手続を行ってください。

3. 選抜方法

口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果および出願書類により総合的に選抜します。なお、口述試験は、複数の試験員により学力試問を行います。

(1) 試験日程

試験区分	出願期間（締切日消印有効）	試　験　日
Ⅰ 期	令和８年８月３日(月)～ 令和８年８月21日(金)	令和８年９月４日(金)
Ⅱ 期	令和８年12月７日(月)～ 令和９年１月７日(木)	令和９年１月23日(土)

(2) 試験科目

口述試験	・プレゼンテーション約10分間ならびにその内容と専門知識に関する口頭試問とする。 ・プレゼンテーションはこれまでの研究内容（卒業論文・卒業研究の内容、これらの進捗状況を含めてもよい）および博士前期課程での研究計画等に関する内容とする。 ・試験日当日は資料（様式任意）5部を持参すること（デザイン学コース志願者は、資料を作品ポートフォリオに代え、プレゼンテーションを行うことができる）。 ・パソコンを使用する場合は事前に福井工業大学 入学センター入試広報課（フリーコール 0120−291−780）に連絡すること。

※プレゼンテーション資料は日本語または英語で作成すること。

(3) 試験時間割

受験上の注意	口述試験
9：30～	9：40～

※口述試験開始から20分以上の遅刻は認めません

(4) 試験会場

福井工業大学　福井キャンパス　（福井市学園3丁目6番1号）

4. 出願手続

(1) 出願書類

次の出願書類を、本学大学院所定の封筒に入れ、定められた期間内に提出してください。郵送の場合は、簡易書留の速達にしてください。

持参の場合：受付時間

平日：９時～17時

（土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（令和8年12月25日㈮～令和9年1月4日㈪）を除く）

提出先　〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号 福井工業大学 入学センター 入試広報課

出願書類	摘　　要
① 入学志願票	本学大学院所定の用紙。
② 受験票・写真票・副票	本学大学院所定の用紙。 写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した、上半身、脱帽正面向き、縦 4cm ×横 3 cm の写真（裏面に氏名を記載）を貼付。 副票には検定料払込受付証明書を貼付。
③ 履歴書	本学大学院所定の用紙。
④ 最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書	出身学校にて作成のもの。
⑤ 最終出身学校の成績証明書	出身学校にて作成のもの。
⑥ 住民票	市区町村窓口で交付された原本を提出。（志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が記載されているもの）
⑦ パスポートの写し	顔写真・氏名および旅券番号・発行年月日が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーしたもの。
⑧ 在留カードの写し	顔写真・氏名および在留資格・在留期間が記載されている面をA4サイズの用紙にコピーしたもの。
⑨ 志望専攻・コースおよび希望する研究分野・内容	本学大学院所定の用紙。
⑩ 出身学校（日本語学校含む）からの推薦書	出身学校にて作成のもの。

※個別入学資格審査により出願資格の認定を受けた者は、①～⑩のうちの①「入学志願票」、②「受験票・写真票・副票」、③「履歴書」を提出してください。

(2) 入学検定料　　２５，０００円

①本学所定の振込用紙により金融機関または福井工業大学出納窓口で納入してください。

一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものをご提出ください。

②納入時に発行される「検定料払込受付証明書」に金融機関または本学の振込受付印が押印されていることを確認の上、副票の所定欄に貼付してください。

5. 出願上の注意事項

(1) 出願資格を満たさない場合および出願書類に不備がある場合は受理しません。
(2) 出願後の記載事項の変更はできません。
(3) 一旦提出された出願書類や入学検定料は返還しません。
(4) 受験および就学に際して、特別な配慮が必要となる障害がある場合は、出願前に福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）までご連絡ください。
※本学の入学試験において「障害がある」とは、「視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害および精神障害、発達障害等の障害があり、障害者手帳を有する、または、その他何らかの個別支援を要し、その旨を示す診断書等を有している状態」のことです。
(5) 入学決定後においても、出願書類等の記載が事実と相違することが発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
(6) 試験日の３日前になっても受験票が届かない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

6. 受験上の注意事項

(1) 試験日当日は、「受験上の注意」開始時間前までに受験者控室に入り、受験番号の席に着席してください。
(2) 試験日当日は受験票を必ず持参し、指定された席の机上に提示してください。忘れた場合は、試験開始前に申し出てください。
(3) 携帯電話・スマートフォンおよびこれに類するものは、受験者控室に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまってください。また、これらを時計の代わりとして使用することはできません。
(4) 入退室の際は受験票を携帯してください。
(5) 口述試験開始から20分以上の遅刻は原則認めません。ただし、試験当日の公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により口述試験開始時刻に到着できない場合には、直ちに福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）まで連絡してください。
(6) 口述試験が終了した人は、再び受験者控室には戻れません。
(7) 上ばきは不要です。

7. 合格発表

(1) 合格発表日

試験区分	合格発表日
Ⅰ　期	令和８年９月17日（木）
Ⅱ　期	令和９年２月３日（水）

(2) 合格発表方法
①受験者全員に合否通知書を入学志願票に記載された住所の本人宛に簡易書留の速達で郵送します。なお、合否通知書は、合格発表日当日に発送しますので、地域により翌日以降の到着となります。
②電話等による合否に関する問い合わせには応じられません。
③学内掲示は行いません。

8. 入学手続締切日

試験区分	入学手続締切日（締切日消印有効）
Ⅰ　期	令和８年11月20日（金）
Ⅱ　期	令和９年２月12日（金）

※入学手続に関する詳細は23ページを参照してください。

9. 学費減免奨学金

大学院博士前期課程私費外国人留学生推薦選抜での入学予定者は、選考の上、学納金を減免します。（私費外国人留学生奨学金）
詳細は24ページを参照してください。

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科
博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜入学試験要項

1. 募集人員

専　　攻	コ　ー　ス	募集人員
応用理工学専攻	電気電子情報工学コース	若干名
	宇宙情報科学コース	
	機械工学コース	
	環境生命化学コース	
	原子力技術応用工学コース	
社会システム学専攻	土木工学コース	若干名
	建築学コース	
	デザイン学コース	
	経営情報学コース	
	スポーツ健康科学コース	

2. 出願資格

日本の国籍を有しない者かつ出身学校（日本語学校含む）の学校長、指導教員またはそれに準ずる者からの推薦のある者で、次の各号のいずれかに該当する者

(1) 修士の学位または専門職学位を有する者および令和9年3月31日までに取得見込みの者

(2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和9年3月31日までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和9年3月31日までに授与される見込みの者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和9年3月31日までに授与される見込みの者

(5) 文部科学大臣の指定した者

3. 選抜方法

口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果および出願書類により総合的に選抜します。なお、口述試験は、複数の試験員により学力試問を行います。

(1) 試験日程

出願期間（締切日消印有効）	試　　験　　日
令和８年12月７日（月）～ 令和９年１月７日（木）	令和９年１月23日（土）

(2) 試験科目

口述試験	・プレゼンテーション約10分間ならびにその内容と専門知識に関する口頭試問とする。 ・プレゼンテーションはこれまでの研究内容（博士前期課程での研究内容を含めてもよい）および博士後期課程で行う予定の研究計画等に関する内容とする。 ・試験日当日は資料（様式任意）5部を持参すること（デザイン学コース志願者は、資料を作品ポートフォリオに代え、プレゼンテーションを行うことができる）。 ・パソコンを使用する場合は事前に福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール0120−291−780）に連絡すること。

※プレゼンテーション資料は日本語または英語で作成すること。

(3) 試験時間割

受験上の注意	口述試験
9：30～	9：40～

※口述試験開始から20分以上の遅刻は認めません

(4) 試験会場
福井工業大学　福井キャンパス（福井市学園３丁目６番１号）

4. 出願手続

(1) 出願書類
次の出願書類を、本学大学院所定の封筒に入れ、定められた期間内に提出してください。郵送の場合は、簡易書留の速達にしてください。
持参の場合：受付時間
平日：９時～17時
（土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始（令和8年12月25日㈮～令和9年1月4日㈪）を除く）
提出先　〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号 福井工業大学 入学センター 入試広報課

出願書類	摘　　要
① 入学志願票	本学大学院所定の用紙。
② 受験票・写真票・副票	本学大学院所定の用紙。 写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した、上半身、脱帽正面向き、縦 4cm ×横 3 cm の写真（裏面に氏名を記載）を貼付。 副票には検定料払込受付証明書を貼付。
③ 履歴書	本学大学院所定の用紙。
④ 博士前期課程（修士課程）修了証明書または修了見込証明書	出身大学院において作成のもの。
⑤ 成績証明書	出身学校および博士前期課程（修士課程）のもの。
⑥ 住民票	市区町村窓口で交付された原本を提出。（志願者本人の国籍・在留資格・在留期間が記載されているもの）
⑦ パスポートの写し	顔写真・氏名および旅券番号・発行年月日が記載されているページをA4サイズの用紙にコピーしたもの。
⑧ 在留カードの写し	顔写真・氏名および在留資格・在留期間が記載されている面をA4サイズの用紙にコピーしたもの。
⑨ 志望専攻・コース および研究計画書	本学大学院所定の用紙。
⑩ 博士前期課程（修士課程）における研究概要	本学大学院所定の用紙。
⑪ 修士論文の写し	博士前期課程（修士課程）を修了した者は提出してください。
⑫ 出身学校（日本語学校含む）からの推薦書	出身学校にて作成のもの。

(2) 入学検定料　　２５，０００円
①本学所定の振込用紙により金融機関または福井工業大学出納窓口で納入してください。
一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものをご提出ください。
②納入時に発行される「検定料払込受付証明書」に金融機関または本学の振込受付印が押印されていることを確認の上、副票の所定欄に貼付してください。

5. 出願上の注意事項

(1) 出願資格を満たさない場合および出願書類に不備がある場合は受理しません。
(2) 出願後の記載事項の変更はできません。
(3) 一旦提出された出願書類や入学検定料は返還しません。
(4) 受験および就学に際して、特別な配慮が必要となる障害がある場合は、出願前に福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）までご連絡ください。
※本学の入学試験において「障害がある」とは、「視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害および精神障害、発達障害等の障害があり、障害者手帳を有する、または、その他何らかの個別支援を要し、その旨を示す診断書等を有している状態」のことです。
(5) 入学決定後においても、出願書類等の記載が事実と相違することが発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
(6) 試験日の３日前になっても受験票が届かない場合は、福井工業大学 入学センター 入試広報課までお問い合わせください。

6. 受験上の注意事項

(1) 試験日当日は、「受験上の注意」開始時間前までに受験者控室に入り、受験番号の席に着席してください。
(2) 試験日当日は受験票を必ず持参し、指定された席の机上に提示してください。忘れた場合は、試験開始前に申し出てください。
(3) 携帯電話･スマートフォンおよびこれに類するものは、受験者控室に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってかばん等にしまってください。また、これらを時計の代わりとして使用することはできません。
(4) 入退室の際は受験票を携帯してください。
(5) 口述試験開始から20分以上の遅刻は原則認めません。ただし、試験当日の公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により口述試験開始時刻に到着できない場合には、直ちに福井工業大学 入学センター 入試広報課（フリーコール 0120－291－780）まで連絡してください。
(6) 口述試験が終了した人は、再び受験者控室には戻れません。
(7) 上ばきは不要です。

7. 合格発表

(1) 合格発表日
令和９年２月３日(水)

(2) 合格発表方法
①受験者全員に合否通知書を入学志願票に記載された住所の本人宛に簡易書留の速達で郵送します。なお、合否通知書は、合格発表日当日に発送しますので、地域により翌日以降の到着となります。
②電話等による合否に関する問い合わせには応じられません。
③学内掲示は行いません。

8. 入学手続締切日

令和９年２月12日（金）（締切日消印有効）
※入学手続に関する詳細は23ページを参照してください。

9. 学費減免奨学金

大学院博士後期課程私費外国人留学生推薦選抜での入学予定者は、選考の上、学納金を免除します。（大学院進学奨励奨学金）
詳細は24ページを参照してください。

大学院工学研究科　入　学　手　続
（博士前期課程および博士後期課程 共通）

1. 入学手続方法

(1) 合格者には合格通知書とともに「入学手続要項」を送付します。入学手続に関するすべての事項は入学手続要項に従って行ってください。
(2) 入学手続を完了した者には、3月に入学許可書を送付します。

2. 入学手続上の注意事項

(1) 入学決定後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
(2) 金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合、振込みを行う人の本人確認書類が必要となります。
(3) 必要な書類がすべてそろっていない場合は受付できないことがありますので、書類提出前に十分に確認してください。
(4) 指定期日までに入学手続を完了しない場合は入学を辞退したものとして取り扱います。
(5) 一旦提出された書類は返還しません。
(6) 入学手続完了者のうち、令和9年3月31日までに本学所定の用紙で入学辞退手続を完了した場合、納入金を返還します。郵送の場合必着です。

3. 入学手続書類提出先

福井工業大学 入学センター 入試広報課
〒910-8505　福井市学園３丁目６番１号　　TEL 0120-291-780（フリーコール）

4. 納 入 金

初年度納入金（各専攻共通）

種別＼納期	前 期（入学手続時）	後 期	年　額
授　業　料	320,000 円	320,000 円	640,000 円
設備充実費	85,000 円	85,000 円	170,000 円
実験実習費	20,000 円	20,000 円	40,000 円
厚生衛生費（冷暖房費含む）	7,500 円	13,500 円	21,000 円
合　計	**432,500 円**	**438,500 円**	**871,000 円**

①上記の納入金以外に、委託徴収金（学生健康保険組合費、学生教育研究災害傷害保険料、学生教育研究賠償責任保険料、学生証カード代等）として、博士前期課程で 13,430 円、博士後期課程で 17,120 円が入学手続時に必要となります。
※委託徴収金は内容および金額が変更となる場合があります。
②物価等の推移により学費を改定する場合もあります。
③入学金は不要です。
④金融機関の窓口で10万円を超える現金での振込みを行う場合、振込みを行う方の本人確認書類が必要となります。

私費外国人留学生に関する奨学金制度

1．私費外国人留学生奨学金

博士前期課程において、大学院私費外国人留学生推薦選抜での入学予定者（「留学」の在留資格を有する留学生で、国費外国人留学生以外の者とする）もしくは本学の大学院に在籍する私費外国人留学生の初年度納入金について、経済的理由により就学が困難であり、本学での学習意欲を持つ者に対し選考により、**本学学納金と国立大学大学院標準額（授業料）との差額を減免します。**

年度末に学業成績等による継続審査を行います。継続条件を満たすことにより次年度も本学学納金と国立大学大学院標準額（授業料）との差額を減免します。毎年度継続条件を満たせば、入学時から最大２年間の学納金を減免します。

《継続条件》 次のすべてを満たすことを要件とします。

①１年修了時に 20 単位以上修得していること。

②担当教員又は指導教員との面談を毎学期末に行った上で推薦を受けており、継続して学業を修める意思が確認できること。

〈参考〉

初年度減免額	福井工業大学大学院 通常額 学納金　871,000 円	－	年額 335,200 円 を減免	＝	国立大学大学院 標準額 授業料　**535,800 円**

2．大学院進学奨励奨学金

大学院博士後期課程の入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により、初年度納入金について学納金を全額免除する奨学金制度です。

《奨学金概要》 本学学納金100%免除

※本学学部卒業または本学大学院博士前期課程を修了していない者は、初年度のみ設備充実費（年額170,000円）を徴収いたします。
学業成績等による継続審査を行います。研究指導教員の推薦を受けることができた場合、次年度も継続します。※委託徴収金は免除対象外です。

3．私費外国人留学生生活奨学金

本学大学院に在籍する私費外国人留学生の中から成績優秀者を奨学生として採用し、月額３万円を給費します。ただし、申請年度内のみ適用となります。

《選考基準》 次のすべてを満たすことを要件とします。

①前学期までの成績 GPA 評価 3.80 以上であり、かつ大学院の私費外国人留学生のうち、上位３位以内であること。

※博士前期課程１年次は学部の成績 GPA 評価、２年次以降は１年次の成績 GPA 評価を対象とする。

※博士前期課程で、他大学又は社会人等から本学大学院に入学したものについては、２年次からの適用とし、１年次の成績 GPA 評価を対象とする。

②担当教員または指導教員から推薦を受けた者。

お問い合わせ先

1．福井工業大学大学院入学試験について

福井工業大学　入学センター 入試広報課　　TEL 0120－291－780（フリーコール）

2．福井工業大学奨学金制度について

福井工業大学　学務課　　TEL 0776－29－7867

応用理工学専攻・社会システム学専攻

コースとその専門分野の概要

応用理工学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

電気電子情報工学コース

アドミッション･ポリシー

電気電子情報工学コースでは、電力工学、電子材料･デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学、人工知能の各分野の教育と研究を行い、エネルギー、半導体、デバイス、情報技術など広い領域で革新を続ける電気電子情報工学に関して国内外で活躍することのできる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者･研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．電気電子情報工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学･研究に励むことのできる人
2．電気電子情報工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．電気電子情報工学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学･研究に取り組むことのできる人
2．電気電子情報工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．電気電子情報工学分野の研究者･技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

電力工学

社会生活上、各種形態のエネルギーが不可欠であるが、輸送・制御・取扱いの点で、電気エネルギーに優るものはない。環境・エネルギー関連領域においても必須の技術である。この分野は、電力発生、新しいエネルギー変換システム、輸送系統、電気機器、パワーエレクトロニクス、制御工学などに関する研究を主題とする。

主な研究テーマ

「核融合プラズマの計測・診断技術の開発」
「ハイパワーレーザー応用技術の開発」
「レーザー駆動量子源の開発」
「レーザーアブレーション応用技術の開発」

電子材料・デバイス工学

ダイオード、トランジスタから始まったエレクトロニクスは電子物性の進展に伴い、ハード・ソフトの両面にわたってめざましく進歩した。この分野に深く関連する電子材料、電子デバイス、電子回路、応用電子機器、マイクロ波工学、超音波工学、オプトエレクトロニクス、マイクロエレクトロニクスなどに関する研究を主題とする。

主な研究テーマ

「電子光学系の色球面収差補正器の研究」
「微分代数法を用いた電子光学系の収差解析」

物性工学

物質の構造を解明し、その性質を知ることが新時代における工学の第一歩であり、新素材の発見や“ものづくり”の基礎となる。この分野は量子力学、統計力学、熱力学、光物性、電気物性と電気材料論、プラズマ物性、レーザ物性などに関する基礎的なものを主題とする。

主な研究テーマ

「ミリ波～可視光レーザーを用いたセンシングおよび物性評価」

制御工学

雑音が含まれるシステムの入力と出力の観測値から、そのシステムのダイナミックスを表現する数式モデルを建てる方法について研究する。また、より正確で速くしかも環境の変化に頑健な制御を実現するためのアドバンストな制御方法について研究する。

主な研究テーマ

「呼吸システムのモデリングとその人工呼吸への応用」
「産業プロセスにおける撹拌システム制御の研究」
「非接触給電システムを用いたゾーン加熱制御の研究」

コンピュータ情報工学

身の回りのあらゆる所にコンピュータが使用されるユビキタスネットワーク社会実現に向け、ハードウェアとソフトウェアの両面から総合的な情報システム構築を目指した研究を行う。組込みシステムとそのモデリング技術、ヒューマンインタフェース、ディジタル信号処理、アルゴリズムなどについて研究する。

主な研究テーマ

「非接触インタフェースの研究」

人工知能

生成 AI の応用を通じて、診察支援、カウンセリング支援、観光地推薦、顧客サポートなどにおいて、精度向上と解釈性維持を同時に達成できるかを探求する。この研究では、実世界データとの組み合わせにより、解釈性を高め、多様な領域にわたる課題解決に役立てることを目指す。

主な研究テーマ

「生成 AI を用いた診断補助ツールの研究」
「生成 AI を用いた対話型ケアボットの研究」
「生成 AI を用いた福井県の観光スポットのパーソナライズ提案」

応用理工学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

宇宙情報科学コース

アドミッション・ポリシー

宇宙情報科学コースでは、宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を行い、修得した宇宙空間の計測技術を地球環境の保全および各種産業の発展のためにグローバルな視点で利活用できる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．宇宙情報科学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．宇宙情報科学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．宇宙情報科学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．宇宙情報科学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．宇宙情報科学分野の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

宇宙環境科学

人類の重要な活動の場となっている地球近傍の宇宙空間の環境について、プラズマ物理学の観点から教育・研究を行う。最初にプラズマ物理学の基礎を習得し、その基礎に基づいて、太陽および惑星間空間の性質、太陽と惑星の電磁気学的な関係についての研究を行う。

主な研究テーマ

「電波干渉計を用いた木星オーロラ電波の研究」
「低コストな木星オーロラ電波観測システムの開発」
「銀河・銀河系の観測的研究」

地球環境計測工学

地球環境問題の解決のためには、地球環境を正確に計測することが必要である。そのための重要な手段が人工衛星による環境計測である。あわらキャンパスに設置されている衛星データ受信システムを用いて得られた衛星画像データから、地球環境に関する情報を抽出する手法について研究する。

主な研究テーマ

「衛星リモートセンシングの農林水産業への応用に関する研究」
「衛星画像を用いた環境モニタリングに関する研究」

衛星通信工学

人工衛星を日常的に利用する時代に入り、産業界からも衛星通信技術を習得した学生への期待が大きい。あわらキャンパスに設置されている衛星データ受信システムを用いて、衛星追尾技術、衛星通信技術、データ復調・復号技術、データ処理技術等に関する教育・研究を実施する。

主な研究テーマ

「あわらキャンパス衛星通信システムを用いたスマートな衛星運用に関する研究」
「ソフトウェアによる新しい送受信システムの開発」
「あわらキャンパスアンテナ群の受信システムの研究開発」
「電波干渉計の開発およびフェーズドアレイシステムの研究開発」

情報処理工学

宇宙および地球環境の計測に必要なデータ処理のアルゴリズムについて学ぶとともに、計算機を用いたデータ処理に用いられる解析方法の原理および実際のプログラミングへの応用について理解した上で、電波天文データ、衛星データあるいは地上観測装置により得られたデータから必要な情報を抽出する手法について研究する。

主な研究テーマ

「衛星画像データ処理による土地利用分類の手法に関する研究」
「放射伝達モデルに基づく夜間屋外照明の夜空の明るさに対する影響に関する研究」
「天文アーカイブデータと機械学習を用いた銀河研究」
「異常検知システムの研究開発」

応用理工学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

機械工学コース

アドミッション・ポリシー

機械工学コースでは、材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を行い、我が国が得意とする「ものづくり」をはじめ、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学に関して国内外で活躍することのできる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．機械工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．機械工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3．将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．機械工学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．機械工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．機械工学分野の技術者・研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

材料工学

金属、非金属材料の熱処理や表面処理などによる高強度・高機能化と、新しい材料の創製、評価を行うとともに、各種材料を製品に用いるために必要な技術開発に関する研究を行う。

主な研究テーマ

「エネルギーリサイクル用高性能熱電変換材料の開発」
「パルス通電焼結（SPS）による各種機能・構造材料の創製」
「その場TEMによるナノ炭素材料の構造と特性の解明」

振動工学

機械システムに内在する複雑な振動および接触問題などについて、エッセンシャルモデルを構築し、それを力学系理論あるいは有限要素法を用いて動力学解析することにより物理的メカニズムを解明する研究を行う。

主な研究テーマ

「内部流による弾性送水管の非線形横振動」
「剛体架線とパンタグラフの衝突振動」
「管内脈動流に起因した弾性送水管曲管部の面外振動」

流体工学

流体の複雑な挙動や圧縮性流体における波動現象を解析し、粘性や熱伝導性による散逸効果に起因する熱エネルギーと音響エネルギーの相互変換を応用した新しい熱機関や冷凍機に関する研究を行う。

主な研究テーマ

「境界層理論に基づく非線形波動現象の解明」
「共鳴器列の分散効果による衝撃波の抑制」
「高次振動モードの抑制による熱音響自励振動の増幅」

熱工学

熱流体における伝熱現象、作動流体の特性によるサイクル評価、燃焼制御、噴霧燃焼特性、排ガス成分と濃度に注目した低減技術開発・環境への影響評価など熱機関関係の新技術開発に必要な研究を行う。

主な研究テーマ

「生物資源由来燃料を用いたディーゼルエンジンの排ガス浄化」
「スターリングエンジンの性能向上」
「自動車排ガスによる環境影響評価に関する研究」

機械システム工学

機械の基盤技術と制御・計測・ソフトウェア技術を融合し、高性能・高信頼性な機器およびシステムの開発研究を行う。

主な研究テーマ

「RF-IDを応用した内燃機関の計測」
「ディープラーニングを使用した車輌診断システムの開発」
「ニューラルネットワークを用いたエンジン制御装置」

応用理工学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

環境生命化学コース

アドミッション･ポリシー

環境生命化学コースでは、応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学の各分野の教育と研究を行い、資源・エネルギー・地球環境・食料問題など人類が直面している重要課題の解決や持続可能な循環型社会の構築に向けて、グローバルな視点で貢献できる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者･研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．環境生命化学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学･研究に励むことのできる人
2．環境生命化学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識･技術を備えている人
3．将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．環境生命化学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．環境生命化学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．環境生命化学分野の技術者・研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

応用化学

新しい物質･材料の開発は、環境･エネルギー問題の解決に寄与するのみならず技術革新の基盤となる。パイ電子系分子の創製とデバイスへの応用および機能性高分子材料の創製と特性評価など有機･高分子機能材料の開発と応用に関する研究を行う。

主な研究テーマ

「有機系太陽電池の開発」
「次世代有機ＥＬ素子の開発」
「外部刺激に応答する機能性分子の開発と応用」

環境科学

有害物質による環境汚染や地球温暖化など地球環境問題が深刻化しており、その解決は最重要課題の一つである。環境分析の基礎と応用および環境汚染物質の無害化やリサイクルに関する研究を行う。

主な研究テーマ

「光触媒を用いた有機汚染物質の分解」
「環境汚染物質のレーザ光化学」
「雨水活用と水循環」

材料科学

資源の有効利用は、持続型社会の構築のために不可欠である。天然高分子、合成高分子および両者の複合化による環境適合性材料の開発と応用に関する研究を行う。

主な研究テーマ

「植物由来機能物質を含む有機デバイスの開発」
「有機色素－有機シラン複合体の計算化学的研究」

応用生物学

人間生活と自然が調和した持続可能で豊かな社会の実現が求められている。植物や藻類などの光合成生物資源の利活用や保全に資する基礎研究と技術開発を行う。

主な研究テーマ

「微生物バイオマス生産へのクロロフィル光毒性の応用」
「非生物学的環境下の作物の応答及び耐性機構の解明」

生命科学

生命現象は、分子レベルで理解する必要がある。生体組織や細胞の挙動を遺伝子、タンパク質、あるいは代謝物レベルで解析し、生物の持つ機能や環境応答、それらの背景にあるメカニズムを解明する。

主な研究テーマ

「作物における環境応答機構の分子生物学的解明」
「盗葉緑体現象とオルガネラ進化の研究」
「クロロフィルの代謝メカニズムの解明」
「加工等による食品成分の変化や挙動の解明」

生体工学

食の安全、健康、医療への人々の関心が高まっている。健康維持･増進、医療用材料機器の開発などに関する研究を行う。

主な研究テーマ

「食品の物性を形成するメカニズムの解明」
「食品に含まれる機能性成分の挙動」
「盗葉緑体改造による人工オルガネラ創成」

応用理工学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

原子力技術応用工学コース

アドミッション･ポリシー

原子力技術応用工学コースでは、原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を行い、修得した原子力発電技術あるいは放射線応用技術をエネルギーの安定供給や各種産業の発展のためにグローバルな視点で利活用できる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者･研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．原子力技術応用工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学･研究に励むことのできる人
2．原子力技術応用工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識･技術を備えている人
3．将来、高度な専門性と倫理観を必要とされる職業を担い、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．原子力技術応用工学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学･研究に取り組むことのできる人
2．原子力技術応用工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．原子力技術応用工学分野の技術者･研究者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

原子力工学

原子力は巨大技術であるが、その根幹をなすものは安全・安心に関する研究である。原子力の安全･安心に関する研究として原子力地域安全、廃棄物処理研究および原子力プラント廃止措置技術等の開発を進める。

主な研究テーマ

「原子力安全に関する研究」
「放射線・放射能測定技術に関する研究」
「原子力プラント廃止措置技術開発」
「廃棄物処理に関する研究」

原子力発電工学

原子力発電を安全に行い、国民に安全・安心を提供する技術の研究開発を行う。具体的には高経年化およびその保全に関する研究、プラント計装・診断・保守に関する研究等を進める。

主な研究テーマ

「原子力発電所保全に関する研究」
「プラント計装･診断･保守システムの研究」
「液体金属の原子力利用に関する研究」
「原子炉冷却水中におけるクラッドの除去･低減に関する研究」
「地域共生･コミュニケーションに関する研究」

放射線応用工学

原子力を特徴づけるものに放射線があり、この放射線をいかに安全に管理するかが原子力の安全に直結する。また、この放射線は、医学のみならず、工学･農学などの幅広い分野で利用されている。この分野では、加速器、放射線影響、放射線防護、放射線応用等の研究を行う。

主な研究テーマ

「加速器を用いたプラズマの研究」
「医療用などの放射線可視化技術の研究」
「放射性物質の分離、捕集技術に関する研究」
「放射線防護技術の研究」
「環境 (土壌･水) 中の放射性物質の浄化に関する研究」
「耐放射線性材料の研究開発」

社会システム学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

土木工学コース

アドミッション・ポリシー

土木工学コースでは、土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学、防災工学の各分野の教育と研究を行い、市民生活の安全安心を根底から支える社会のシステムおよび施設の計画・設計・構築・維持・管理に関して国内外で活躍することのできる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．土木工学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．土木工学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．土木工学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．土木工学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．土木工学の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

土木計画学

都市論から全国総合開発計画や大都市圏整備計画、都市計画等といった実際の計画手法、およびパブリックインボルブメント（PI）・住民参加、合意形成（コンセンサス）に関する計画科学分野の基礎を修得するとともに、現行の国土利用計画法や都市計画法、景観法などの制度・事業の理解を深め、その応用的な研究を行う。

主な研究テーマ

「地方都市における自動車依存の低減と回遊性向上に関する研究」

環境工学

水処理学、廃棄物処理学、地域・都市計画学などの基礎と応用に関する研究や、都市や地域の環境保全を含めた広義の都市デザイン学的研究を行う。また、地球温暖化問題に対する環境工学的視野からの研究も行う。

主な研究テーマ

「廃棄物の処理とリサイクル」
「身近なビオトープ再生手法」

地盤工学

土木構造物の基礎の安定、施工に関係の深い地盤工学、土質工学などの基礎と応用に関する研究、地盤特性を考慮した土木構造物の地震被害予測の研究を行う。

主な研究テーマ

「巨大地震時における土木構造物の動的挙動に関する研究」
「地盤増幅特性による構造物被害への影響評価」
「断層変位などの地盤変状を受ける抗基礎設計法の開発」

構造工学

土木構造物の構造解析法、ならびに地震時の挙動解析に関する研究、構造物の劣化予測と最適補修設計計画に関する研究を行う。また、津波と構造との関係を明らかにする複合分野の研究も行う。

主な研究テーマ

「最適意思決定法に関する研究」
「橋梁構造物の最適設計および最適補修計画」
「構造物の非線形地震応答の開発」

防災工学

地震、津波、水害、土砂災害などの自然災害による被害を防止・軽減するための方法論に関する研究を行う。また、安全なまちづくりのための防災計画、避難計画など、ハードとソフトの両面から研究を行う。

主な研究テーマ

「地震ハザード評価に関する研究」
「都市防災や防災計画、避難計画に関する研究」
「ニューノーマル時代の水災害に関する研究」

社会システム学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

建築学コース

アドミッション・ポリシー

建築学コースでは、建築論・計画・設計、伝統木造建築、建築構造工学、建築環境・設備の各分野の教育と研究を行い、建築と都市・地域社会の調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に向けて国内外で貢献することのできる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．建築学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．建築学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識および技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．建築学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．建築学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．建築学の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

建築論・計画・設計

建築計画系の理論的分野で、建築計画学に関する研究、都市計画・地域計画に関する研究、建築論・意匠論に関する研究を行う。

主な研究テーマ

「建築論の京都学派に関する研究」
「戦後福井の建築思潮史に関する研究」
「北陸地域の伝統的な建築意匠に関する研究」
「建築作品の設計プロセスに関する研究」
「建築設計手法に関する研究」
「現代の社会問題に対応する建築設計コンセプトの研究」

伝統木造建築

日本の伝統的木造建築の計画・構法・意匠・生産に関する歴史・意匠の研究、日本建築の精神を継承した新たな木造建築の設計、および歴史的な建築や社会環境の保存・再生に関わる研究などを行う。

主な研究テーマ

「日本の歴史的建築に関する研究」
「日本の町並み・歴史的景観の研究および保存・再生・活用に関する研究」

建築構造工学

建築物の自然災害に関する研究、建築構造に関する研究、鉄筋コンクリート構造に関わる諸技術と設計法に関する研究などを行う。

主な研究テーマ

「建築物の耐震設計法の研究」
「鉄筋コンクリートの力学的挙動に関する研究」

建築環境・設備

建築環境工学・設備工学の分野で、特に太陽光発電やパッシブソーラーなどの自然エネルギー利用技術や給排水・衛生設備の最適設計手法に関する研究などを行う。

主な研究テーマ

「カーボンニュートラルに向けた環境配慮手法に関する研究」
「集合住宅における最適な給排水設備設計手法に関する研究」

社会システム学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

デザイン学コース

アドミッション・ポリシー

デザイン学コースでは、生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の実践的な教育および研究を行い、生活、技術、文化、芸術などに対する理解の上に、豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．デザイン学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．デザイン学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．デザイン学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．デザイン学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．デザイン学分野の高度な専門性を身につけたスペシャリストとしての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

生活創造科学

デザイン学の理論的・基礎的分野であり、デザイン論、デザイン史、デザイン文化計画、デザイン教育などに関する研究と実践的なデザイン活動を行う。

主な研究テーマ

「近現代デザイナーの作品コンセプトの研究」
「環境問題のデザイン的解決に関する史的研究」
「デザインの視点を生かした中山間地域の活性化計画」
「初学者に対するグラフィックデザイン教育の手法に関する研究」

生産・環境デザイン学

都市デザイン、住環境デザイン、インテリアデザイン、プロダクトデザインなどの領域における基礎理論研究、および作家・作品研究や実践的なデザイン手法の研究、それらを応用した制作活動を行う。

主な研究テーマ

「建築の外観デザインにおける諸要素の構成手法に関する研究」
「人間の行為や心理的側面からみた空間デザインに関する研究」
「素材から発想するプロダクトの研究と提案」
「既存ストックを活かした都市デザインに関する研究」

情報・伝達デザイン学

グラフィックデザイン、コミュニケーションデザイン、情報デザイン、Web デザイン、映像デザインなどの領域における基礎理論研究、および作家・作品研究や実践的なデザイン手法の研究、それらを応用した制作活動を行う。

主な研究テーマ

「メディアコンテンツにおける視覚情報伝達」
「都市公共空間における景観情報と視覚認識に関する研究」
「各種印刷技術を応用したヴィジュアル表現手法に関する研究」
「地域資源の映像化手法の研究」

社会システム学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

経営情報学コース

アドミッション・ポリシー

経営情報学コースでは、経営学、政策科学、情報科学、並びにデータサイエンスの各分野の教育と研究を行い、今日の高度情報社会においてグローバルな視点で活躍することのできる豊かな学識と高い倫理観および社会の要請に対応可能な創造力を兼ね備えた高度専門技術者・研究者を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．経営情報学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．経営情報学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．経営情報学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．経営情報学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．経営情報学分野の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

経営学

急激に変化する環境の中で、企業が生き残るためのカギは、高度なICTを活用した企業内・外の情報に基づく経営戦略の立案である。「経営学」分野では、情報利活用のためのICTスキルを培い、マーケティング、企業会計、オペレーションズリサーチ（OR）などの手法を用いて、経営戦略の立案、および企業やその利害関係者が抱える諸問題の解決策について研究する。

主な研究テーマ

「POSデータに基づくマイクロマーケットの推定」
「企業情報開示制度に資する財務数値を用いた実証研究」
「仕事をすることの意味と企業の在り方についての研究」
「企業・団体のソーシャルメディアマーケティング戦略についての研究」
「AI技術の進展に伴うマーケティングの変化と適応についての研究」
「アンケート項目の再設計に関する研究」

政策科学

複雑化し、不確実性の高い現代社会では、問題の本質を的確に捉え、最適な状況を作り出すための政策を立案できる人材が必要とされている。「政策科学」分野では、経済学、統計学などの手法を用いて、政策がもたらす効果や地域社会における課題の解決法について研究する。

主な研究テーマ

「経済の発展と人口の変動に関する研究」
「機能価値LCA評価とICP接合による新たなサステナビリティ経営管理手法の研究」
「株式市場の価格調整に関する実証分析」
「地方都市における公共交通体系と人口分布に関する分析」
「子どもや高齢者の健康体力維持増進のための方策と効果に関する研究」

情報科学

情報化社会を迎え、情報は我々の社会を構成する最も重要な要素となっている。「情報科学」分野では、情報をメディア・ネットワーク・人工知能・医療・教育など様々な視点から観察して普遍的原理の究明に取り組むとともに、先端的応用技術の創出を図る。

主な研究テーマ

「知能メディア工学：AIに基づくマルチメディアの生成と認識」
「深層言語モデルを用いた言語情報分析とその応用に関する研究」
「情報共有システム上の非言語文脈を利用した自然言語処理の研究」
「初学者向けプログラミング教育のためのシステム開発に関する研究」
「IoT通信の収容能力及び性能向上を目指したモバイルネットワークの研究」
「神経発達症の児童・生徒のインターネット利用」

社会システム学専攻（博士前期課程 / 博士後期課程）

スポーツ健康科学コース

アドミッション・ポリシー

スポーツ健康科学コースでは、スポーツ科学、健康科学の各分野の教育と研究を行い、正しい倫理観と科学的根拠に基づく健康づくり、競技力向上のための指導法やマネジメントシステムの構築に貢献できる人材を育成する。そのため、本コースでは次のような人を求めている。

《博士前期課程》

1．スポーツ健康科学コースの教育研究内容に興味をもって積極的に勉学・研究に励むことのできる人
2．スポーツ健康科学分野における課題の発見と解決に必要な基礎知識・技術を備えている人
3．高度な専門性が求められる職業を担うための能力と倫理観を身につけ、地域社会あるいは国際社会で活躍したいという意欲をもっている人

《博士後期課程》

1．スポーツ健康科学コースの教育研究内容に高い関心をもち、主体的に勉学・研究に取り組むことのできる人
2．スポーツ健康科学分野の課題を自ら発見し、その解決に向けてこれまでに修得した知識と技術を応用できる能力を備えている人
3．スポーツ健康科学の研究者・技術者としての責任を自覚し、広い視野を備えた指導的な立場で国際的に活躍したいという意欲をもっている人

専門分野の概要

スポーツ科学

スポーツ科学の分野では、ヒトの身体の動きや能力、心理状態を客観的に捉え、分析することが求められる。そのため、生体情報処理、バイオメカニクス、統計学を用いて研究する。また、これらの分析結果を活用し、科学的な根拠に基づく指導を実践するため、コーチング学、トレーニング学に関連した研究を行う。

主な研究テーマ

「生体情報データを活用したアスリートのトレーニング効果の検証に関する研究」
「外的フィードバック情報の提示が運動パフォーマンスの改善にもたらす影響の研究」
「アスリートの個人の特性に応じたテーラーメイド型コーチングモデルの構築」
「効果的なストレング & コンディショニングの手段に関する研究」
「大学生アスリートにおける戦術理解度向上に有効な要因の検討」
「女性アスリートの食行動異常に関する研究」

健康科学

健康科学の分野では、個人はもとより、社会全体の活動として、健康の保持・増進、QOL の向上を推進することが求められる。そのため、心身の状態を適切に測定・評価する研究を行う。また、健康づくりを戦略的に進めるためのヘルスプロモーションに関連する研究を行う。

主な研究テーマ

「子どもの運動器機能不全の有無と体力・運動能力の優劣の関係に関する研究」
「子どもの成熟度を踏まえた運動能力の発達に関する研究」
「高齢者の健康体力維持増進のための方策と効果に関する研究」
「地域在住高齢者における年齢、生活空間、運転習慣、および体力・運動能力間の関連に関する研究」
「スポーツ健康科学による地域と連携したヘルスプロモーション活動に関する研究」

令和9年度
福井工業大学大学院工学研究科　博士前期課程

私費外国人留学生推薦選抜　入学志願票

APPLICATION FOR ADMISSION TO GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING (Master Course), FUKUI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

This form must be completed by the applicant.

Please use a black pen to fill out this form.

受験番号 Applicant's No.	※

Photograph
写　真

from the-waist-up, full face, recently taken (4㎝ long, 3㎝ broad)

上半身脱帽正面向き
最近撮影したもの
（縦4㎝，横3㎝）

	志望専攻・コース　Desired Department & Course	
該当箇所に ✓ を記入 Check the appropriate box	☐ 応用理工学専攻 Department of Applied Science & Engineering	☐ 電気電子情報工学コース Electrical, Electronic and Computer Engineering Course
		☐ 宇宙情報科学コース Space Information Science Course
		☐ 機械工学コース Mechanical Engineering Course
		☐ 環境生命化学コース Environmental and Biological Chemistry Course
		☐ 原子力技術応用工学コース Nuclear Technology Application Course
	☐ 社会システム学専攻 Department of Social System Engineering	☐ 土木工学コース Civil Engineering Course
		☐ 建築学コース Architecture Course
		☐ デザイン学コース Design Course
		☐ 経営情報学コース Management and Information Science Course
		☐ スポーツ健康科学コース Sports and Health Sciences Course

フリガナ					
氏　名 Full Name (as it appears on your passport)					
国　籍 Nationality			性　別 Sex		男　・　女 Male　Female
生年月日 Date of Birth	西暦　　年 Year　　月 Month　　日 Day		年　齢 Age		歳
旅券 Passport	番　号 Number		在留カード Residence card	番　号 Number	
	発行年月日 Date of Issue			有効期限 Expiration date	
在留資格 Status of Residence			婚姻の有無 Marital Status		既婚　・　未婚 Married　Single
本国の住所 Home Address	〒				
Phone					
現　住　所 Present Address	〒				
Phone		E-mail address			

〈個人情報の取り扱い〉入学試験要項表紙裏の個人情報の取り扱いについての項をよく読み、同意の上、出願してください。

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜 受験票

受験番号	※	
フリガナ		
氏　名		
試験区分	Ⅰ 期　Ⅱ 期	
志望専攻 ☑を記入	□ 応用理工学専攻 □ 社会システム学専攻	
志望コース	コース	
試験日時	Ⅰ 期	令和８年 ９月 ４日(金) 9:30～
	Ⅱ 期	令和９年 １月23日(土) 9:30～

注　意

1. ※印欄は記入しないでください。
2. 本票は試験当日に必ず携帯してください。

志願票受付印
※

切りはなさないでください

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜 写真票

1. 上半身脱帽
2. 最近3ヶ月以内に撮影したもの
3. 縦4cm×横3cm
4. 写真裏面に氏名を明記して全面糊付

試験区分	Ⅰ 期　Ⅱ 期
志望専攻 ☑を記入	□ 応用理工学専攻 □ 社会システム学専攻
志望コース	コース
受験番号	※
フリガナ	
氏　名	

切りはなさないでください

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士前期課程私費外国人留学生推薦選抜 副票

検定料払込受付証明書 貼付欄

金融機関で納入した検定料払込受付証明書に領収印を受けたものを貼付してください。

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　私費外国人留学生推薦選抜（博士前期課程/博士後期課程）

履　歴　書 (Resume)

（大学記入欄）

受験番号

Full Name 氏　　名	Must be filled out by the applicant. 本人が自筆で記入

■学歴
Educational Background
※通学したすべての学校（小学校から）年代順に記入してください。
List in chronological order all the schools you attended (including primary school).

Name of School　学校名 Address of School　所在地	Date of Entrance 入学年月	Date of Graduation 卒業年月	Term of Study 修業年限
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年

■学歴（日本国内）　日本語学校、専門学校など
Educational Background in Japan (Japanese Language School, Vocational School and Others)

Name of School　学校名 Address of School　所在地	Date of Entrance 入学年月	Date of Graduation 卒業年月	Term of Study 修業年限
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年
	year 年　month 月	year 年　month 月	years 年

■職歴
Employment History

Name of Employment　勤務先名 Address of Employment　所在地	Period of Employment 期　　間
	year 年　month 月　～　year 年　month 月
	year 年　month 月　～　year 年　month 月

I hereby declare the above statement is true and correct.
以上の通り、相違ありません

Year 年　Month 月　Day 日　Signature of Applicant 志願者署名

（大学記入欄）

受験番号

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士前期課程
私費外国人留学生推薦選抜

志望専攻･コースおよび希望する研究分野･内容

志望専攻	専　攻
志望コース	コース
氏　　名	

博士前期課程で希望する研究分野・内容

※特に指導教員を指定希望される場合は、その旨記入してください。

令和9年度
福井工業大学大学院工学研究科　博士後期課程

私費外国人留学生推薦選抜　入学志願票

APPLICATION FOR ADMISSION TO GRADUATE SCHOOL OF ENGINEERING (Doctor Course), FUKUI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

This form must be completed by the applicant.

Please use a black pen to fill out this form.

受験番号 Applicant's No.	※

Photograph
写　真

from the-waist-up, full face, recently taken (4㎝ long, 3㎝ broad)

上半身脱帽正面向き
最近撮影したもの
（縦4㎝，横3㎝）

	志望専攻・コース　Desired Department & Course	
該当箇所に ✓ を記入 Check the appropriate box	☐ 応用理工学専攻 Department of Applied Science & Engineering	☐ 電気電子情報工学コース Electrical, Electronic and Computer Engineering Course
		☐ 宇宙情報科学コース Space Information Science Course
		☐ 機械工学コース Mechanical Engineering Course
		☐ 環境生命化学コース Environmental and Biological Chemistry Course
		☐ 原子力技術応用工学コース Nuclear Technology Application Course
	☐ 社会システム学専攻 Department of Social System Engineering	☐ 土木工学コース Civil Engineering Course
		☐ 建築学コース Architecture Course
		☐ デザイン学コース Design Course
		☐ 経営情報学コース Management and Information Science Course
		☐ スポーツ健康科学コース Sports and Health Sciences Course

フリガナ					
氏　名 Full Name (as it appears on your passport)					
国　籍 Nationality			性　別 Sex		男　・　女 Male　Female
生年月日 Date of Birth	西暦　　年 Year　　月 Month　　日 Day		年　齢 Age		歳
旅券 Passport	番　号 Number		在留カード Residence card	番　号 Number	
	発行年月日 Date of Issue			有効期限 Expiration date	
在留資格 Status of Residence			婚姻の有無 Marital Status		既婚　・　未婚 Married　Single
本国の住所 Home Address	〒				
Phone					
現　住　所 Present Address	〒				
Phone		E-mail address			

〈個人情報の取り扱い〉入学試験要項表紙裏の個人情報の取り扱いについての項をよく読み、同意の上、出願してください。

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜 受験票

受験番号	※
フリガナ	
氏　名	
志望専攻 ☑を記入	☐ 応用理工学専攻 ☐ 社会システム学専攻
志望コース	コース
試験日時	令和９年 １ 月23日(土) 9:30～

注　意

1. ※印欄は記入しないでください。
2. 本票は試験当日に必ず携帯してください。

志願票受付印
※

切りはなさないでください

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜 写真票

1. 上半身脱帽
2. 最近3ヶ月以内に撮影したもの
3. 縦4cm×横3cm
4. 写真裏面に氏名を明記して全面糊付

志望専攻 ☑を記入	☐ 応用理工学専攻 ☐ 社会システム学専攻
志望コース	コース
受験番号	※
フリガナ	
氏　名	

切りはなさないでください

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科

博士後期課程私費外国人留学生推薦選抜 副票

検定料払込受付証明書 貼付欄

金融機関で納入した検定料払込受付証明書に領収印を受けたものを貼付してください。

（大学記入欄）

受験番号

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士後期課程
私費外国人留学生推薦選抜

博士前期課程（修士課程）における研究概要

出身大学院

専　　攻

氏　　名

博士前期課程（修士課程）における研究概要

（大学記入欄）

受験番号

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士後期課程
私費外国人留学生推薦選抜

志望専攻･コースおよび研究計画書

志望専攻　　専　攻

志望コース　　コース

氏　　名

博士後期課程における研究計画書

出願資格認定審査申請用

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士前期課程

入学試験出願資格認定審査申請書

令和　　年　　月　　日

福井工業大学大学院工学研究科委員長　殿

フリガナ

（申請者）　氏　　名　　㊞

生年月日　西暦　　年　　月　　日生

住　　所

電　　話　（　　）　　－

（携帯電話）　　－　　－

貴大学大学院工学研究科 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜

Ⅰ期 Ⅱ期 を志願するにあたり、出願資格の認定審査を受けたく、

所定の書類を添えて申請します。

志 望 専 攻	専　攻
志望コース	コース

出願資格認定審査申請用

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士前期課程

履　　歴　　書

本人自筆で記入してください。※は記入しないでください。

フリガナ		性　別	受験番号
氏　　名		男　・　女	※
生年月日	西暦　　年　　月　　日生　満　　歳（　　月　　日現在）		
住　　所	〒 TEL（　　）　　－		

学　　歴 （高等学校卒業より記入）	年　　月	高等学校卒業
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
職　　歴	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	

過去の主な職務内容

出願資格認定審査申請用

令和9年度 福井工業大学大学院工学研究科　博士前期課程

志 望 理 由 書

志望専攻　　専　攻

志望コース　　コース

氏　　名

（注　意）
●裏面の「注意事項」をよく読んでご記入ください。
●太枠内は、払込人が必ずご記入ください。
●一部の金融機関においては、本学所定の振込依頼書を使用することができない場合があります。その場合、金融機関所定の振込依頼書を使用し、手続をしていただき、本学所定の振込依頼書の領収書および（志願票貼付用）検定料払込受付証明書に銀行日付印を押印したものをご提出ください。

大学院工学研究科

令和9年度 福井工業大学大学院入学試験検定料

振 込 依 頼 書

電信扱

令和　　年　　月　　日

福井銀行本店　御中

科目	普　通　預　金	口座番号	6083053
受取人	学校法人（ガッコウホウジン）　金井学園（カナイガクエン）		

払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL	金　額	¥	2	5	0	0	0
		現　金						
		自店券						
		他店券						
試験区分	○で囲む 1. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅰ期 2. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅱ期 3. 博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜	勘定店	出納印 振替科目					
持出店交換印								

持出店
検印
受付

勘定店
検印
精査
出納
記録

切りはなさないでください。

（払込人→取扱店）

納入済通知書

大学院工学研究科

令和9年度 福井工業大学大学院入学試験検定料

試験区分	○で囲む 1. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅰ期 2. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅱ期 3. 博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜						
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL						
払込金額		十	万	千	百	十	円
		¥	2	5	0	0	0
払込銀行	福井銀行本店						
		銀行日付印					

学校法人　金井学園
（払込人→取扱店→取まとめ店→金井学園）

領　　収　　書

大学院工学研究科

令和9年度 福井工業大学大学院入学試験検定料

試験区分	○で囲む 1. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅰ期 2. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅱ期 3. 博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜						
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL						
払込金額		十	万	千	百	十	円
		¥	2	5	0	0	0
払込銀行	福井銀行本店						
		銀行日付印					

学校法人　金井学園
（払込人保存用）

（志願票貼付用）

検定料払込受付証明書

大学院工学研究科

令和9年度 福井工業大学大学院入学試験検定料

試験区分	○で囲む 1. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅰ期 2. 博士前期課程 私費外国人留学生推薦選抜Ⅱ期 3. 博士後期課程 私費外国人留学生推薦選抜						
払込人住所氏名	住　所 フリガナ 氏　名 TEL						
払込金額		十	万	千	百	十	円
		¥	2	5	0	0	0
払込銀行	福井銀行本店						
		銀行日付印					

学校法人　金井学園

注　意　事　項

① 入学検定料は、必ず本学指定のこの検定料振込用紙を使用して全国の金融機関から払い込んでください。ATM（現金自動預入支払機）の使用はご遠慮ください。

② 払込人氏名は受験者本人の氏名としてください。

③ 払い込みの際には、金融機関の領収印を押した「領収書」と「検定料払込受付証明書」を必ず受取ってください。領収印のないものは無効です。

④ 「検定料払込受付証明書」を副票の所定欄に貼付してください。

⑤ 手数料については、依頼人負担にてお願いいたします。

各金融機関へお願い

本学入学試験の出願期間（締切日消印有効）は以下の通りです。

（対象の試験区分）

大学院	博士前期課程私費外国人留学生推薦選抜Ⅰ期 令和8年８月３日（月）～ 令和8年８月21日（金）
	博士前期課程私費外国人留学生推薦選抜Ⅱ期 令和8年12月７日（月）～ 令和9年１月７日（木）
	博士後期課程私費外国人留学生推薦選抜 令和8年12月７日（月）～ 令和9年１月７日（木）

速 達

910-8505

切　手

（簡易書留料
速　達　料）

貼付のこと。

福井市学園3丁目6番1号

福井工業大学
入学センター入試広報課 行

簡易書留

出願書類在中

大学院　私費外国人留学生推薦選抜

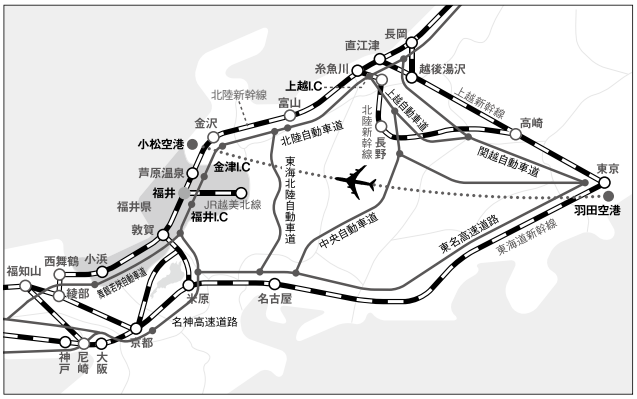
○をつける	試験区分		出願締切日（締切日消印有効）
	博士前期課程	Ⅰ期	出願締切日　令和8年8月21日（金）（締切日消印有効）
		Ⅱ期	出願締切日　令和9年1月7日（木）（締切日消印有効）
	博士後期課程		

※1 封をする前に裏面を読み、確認してください。
※2 出願書類記入の際は、必ず黒ボールペンまたは万年筆を使用してください。

大学院 志望専攻・コース	専攻　　コース
住　所	〒□□□-□□□□
フリガナ	
氏　名	
電話番号	（　　）　　－

この封筒の中に下記の該当書類がすべて入っているか確認してください。	チェック	
	博士前期課程	博士後期課程
1. 入学志願票		
2. 受験票・写真票・副票		
3. 履　歴　書		
4. 最終出身学校の卒業(修了)証明書または 卒業(修了)見込証明書		
5. 博士前期課程(修士課程)修了証明書または修了見込証明書		
6. 成績証明書 博士前期課程：最終出身学校のもの 博士後期課程：出身学校および博士前期課程(修士課程)のもの		
7. 住　民　票		
8. パスポートの写し		
9. 在留カードの写し		
10. 博士前期課程：志望専攻･コースおよび 希望する研究分野･内容		
博士後期課程：志望専攻･コースおよび研究計画書		
11. 出身学校(日本語学校含む)からの推薦書		
12. 博士前期課程(修士課程)における研究概要		
13. 修士論文の写し		

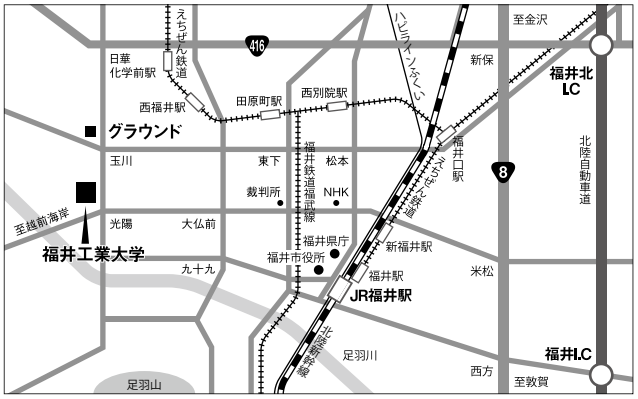
ACCESS MAP



JR福井駅までの所要時間

- ●東京から　北陸新幹線利用　約3時間
- ●名古屋から　JR新幹線・特急利用　約2時間
- ●京都から　JR新幹線・特急利用　約1時間半
- ●大阪から　JR新幹線・特急利用　約2時間
- ●金沢から　JR新幹線利用　約30分
- ●富山から　JR新幹線利用　約1時間
- ●長野から　JR新幹線利用　約2時間

CAMPUS MAP



福井キャンパス　〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号

- ●JR北陸新幹線・ハピラインふくい 福井駅下車
- ●JR福井駅西口バスターミナル3番のりば 12･18 学園線「福井高校前」下車、13 桜ヶ丘団地線「福井工業大学前」下車（所要時間約10分）

福井工業大学
Fukui University of Technology

〒910-8505 福井県福井市学園3丁目6番1号
TEL.0776-29-7871（直） FAX.0776-29-7866
E-mail kouhou@fukui-ut.ac.jp

[お問い合わせ先]福井工業大学 入学センター 入試広報課
フリーコール 0120-291-780
https://www.fukui-ut.ac.jp/

Japan Institution for Higher Education Evaluation JIHEE since 2004 III UNIVERSITY 2020.4~2027.3

福井工業大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、「本評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。